

注3

大学番号：私264

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

広島経済大学 メディアビジネス学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人石田学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 課長補佐 ニシカワ ミエ 西川 美江

電話番号 082-871-1000

（夜間） 082-871-1000

F A X 082-871-1005

e-mail ssc@hue.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

メディアビジネス学部

＜ビジネス情報学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

＜メディアビジネス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	34
2. 授業科目の概要	38
3. 施設・設備の整備状況、経費	45
4. 既設大学等の状況	46
5. 教員組織の状況	47
6. 附帯事項等に対する履行状況等	63
7. その他全般的事項	64

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人石田学園

(2) 大学名

広島経済大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒731-0192

広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシダ ツネオ) 石田 恒夫 (現職就任平成11年9月)		
学長	(オダニ ユキオ) 小谷 幸生 (現職就任平成29年4月)		
学部長	(キタノ ヒサト) 北野 尚人 (現職就任平成31年4月)		
学科長等	(ニワ ケイイチ) 丹羽 啓一 (現職就任平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
ディビジョン学部 ディビジョン情報学科 学士(経営学)	経済学関係	4 年	80 人	- 年次 人	320 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80 (-) [-]		() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	0.90倍	-	
志願者数	356 (-) [3]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	356 (-) [3]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	168 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	72 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	0.90												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	72 [2] (-)	— [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	72 [2] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	72 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留學生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<メディアビジネス学部 ビジネス情報学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目 外国語科目 (全学部学科共通)	必修英語A I	1前	1								6
	必修英語A II	1後	1								6
	必修英語B I	1前	1								11
	必修英語B II	1後	1								11
	必修英語C I	1通	1								2
	必修英語C II	2通	1								1
	英語理解・基礎徹底 I	2前		1							2
	英語理解・基礎徹底 II	2後		1							2
	英語理解・標準 I	2前		1							2
	英語理解・標準 II	2後		1							2
	英語理解・発展 I	2前		1							2
	英語理解・発展 II	2後		1							2
	英語表現・基礎徹底 I	2前		1							2
	英語表現・基礎徹底 II	2後		1							2
	英語表現・標準 I	2前		1							2
	英語表現・標準 II	2後		1							2
	英語表現・発展 I	2前		1							1
	英語表現・発展 II	2後		1							1
	海外研修英語 I	1前		1							1
	海外研修英語 II	1後		1							1
	ビジネス英語 I	1前		1							1
	ビジネス英語 II	1後		1							1
	基礎英会話 I	1前		1							1
	基礎英会話 II	1後		1							1
	発展英会話 I	1前		1							1
	発展英会話 II	1後		1							1
	資格英語 I	1前		1							2
	資格英語 II	1後		1							2
	資格英語 III	1前		1							1
	資格英語 IV	1後		1							1
	Academic Writing in English	2休		1							1
	フランス語 I	1前		1							1
	フランス語 II	1後		1							1
	ドイツ語 I	1前		1							1
	ドイツ語 II	1後		1							1
	スペイン語 I	1前		1							1
	スペイン語 II	1後		1							1
	中国語 I	1前		1							1
	中国語 II	1後		1							1
	韓国語 I	1前		1							1
	韓国語 II	1後		1							1
	インドネシア語 I	1前		1							1
	インドネシア語 II	1後		1							1
小計(43科目)	-		6	37	0						29
日本語文章表現科目	日本語文章表現	1前・後	2								5
	文章検演習	4前・後			2						2
	ビジネス日本語演習	1前・後		2							3
	日本語演習・標準	1前・後		2							1
	文章表現演習・標準	1前・後		2							4
	日本語演習・発展	2前		2							1
	文章表現演習・発展	2前・後		2							1
小計(7科目)	-		2	10	2						8
自己理解系科目	日本の歴史 I	1前		2							1
	日本の歴史 II	1前		2							1
	日本の歴史 III	1後		2							1
	広島県の歴史と文化	1後		2							2
	日本の思想と文化	1前		2							1
	日本の宗教	1後		2							1
	日本の地理	1前・後		2							1
	日本の法律	1後		2							1
	日本の政治	1前・後		2							1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目 外国語科目 (全学部学科共通)	必修英語A I	1前	1								6
	必修英語A II	1後	1								6
	必修英語B I	1前	1								11
	必修英語B II	1後	1								11
	必修英語C I	1通	1								2
	必修英語C II	2通	1								1
	英語理解・基礎徹底 I	2前		1							2
	英語理解・基礎徹底 II	2後		1							2
	英語理解・標準 I	2前		1							2
	英語理解・標準 II	2後		1							2
	英語理解・発展 I	2前		1							2
	英語理解・発展 II	2後		1							2
	英語表現・基礎徹底 I	2前		1							2
	英語表現・基礎徹底 II	2後		1							2
	英語表現・標準 I	2前		1							2
	英語表現・標準 II	2後		1							2
	英語表現・発展 I	2前		1							1
	英語表現・発展 II	2後		1							1
	海外研修英語 I	1前		1							1
	海外研修英語 II	1後		1							1
	ビジネス英語 I	1前		1							1
	ビジネス英語 II	1後		1							1
	基礎英会話 I	1前		1							1
	基礎英会話 II	1後		1							1
	発展英会話 I	1前		1							1
	発展英会話 II	1後		1							1
	資格英語 I	1前		1							2
	資格英語 II	1後		1							2
	資格英語 III	1前		1							1
	資格英語 IV	1後		1							1
	Academic Writing in English	2休		1							1
	フランス語 I	1前		1							1
	フランス語 II	1後		1							1
	ドイツ語 I	1前		1							1
	ドイツ語 II	1後		1							1
	スペイン語 I	1前		1							1
	スペイン語 II	1後		1							1
	中国語 I	1前		1							1
	中国語 II	1後		1							1
	韓国語 I	1前		1							1
	韓国語 II	1後		1							1
	インドネシア語 I	1前		1							1
	インドネシア語 II	1後		1							1
小計(43科目)	-		6	37	0						28
日本語文章表現科目	日本語文章表現	1前・後	2								5
	文章検演習	4前・後			2						2
	ビジネス日本語演習	1前・後		2							3
	日本語演習・標準	1前・後		2							1
	文章表現演習・標準	1前・後		2							3
	日本語演習・発展	2前		2							1
	文章表現演習・発展	2前・後		2							1
小計(7科目)	-		2	10	2						7
自己理解系科目	日本の歴史 I	1前		2							1
	日本の歴史 II	1前		2							1
	日本の歴史 III	1後		2							1
	広島県の歴史と文化	1後		2							2
	日本の思想と文化	1前		2							1
	日本の宗教	1後		2							1
	日本の地理	1前・後		2							1
	日本の法律	1後		2							1
	日本の政治	1前・後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助			
科目 自己理解系	日本国憲法Ⅰ	1前		2								1	
	日本国憲法Ⅱ	1後		2								1	
	小計(11科目)	-	0	22	0							9	
他者理解系科目	世界の歴史Ⅰ	1前		2								2	
	世界の歴史Ⅱ	1後		2								2	
	世界の思想と現代社会Ⅰ	1前・後		2								1	
	世界の思想と現代社会Ⅱ	1後		2								1	
	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2								1	
	世界の宗教	1前		2								2	
	世界の地理Ⅰ	1後		2								1	
	世界の地理Ⅱ	1前		2								1	
	世界の憲法	1後		2								1	
		小計(9科目)	-	0	18	0							8
基礎教養科目	社会心理学	1後		2								1	
	生命倫理	1前		2								1	
	日本文学A	1前		2								1	
	日本文学B	1後		2								1	
	外国文学A	1後		2								3	
	現代社会と人権	1後		2								1	
	環境法	1後		2								1	
	テクノロジーと社会・経済	1前		2								1	
	情報とネットワーク社会	1後		2								1	
	数学A	1前		2								1	
	数学B	1後		2								1	
	数学C	2前		2								1	
	自然科学A	1前		2								1	
	自然科学B	1後		2								1	
	自然科学C	1休		2								1	
	スポーツ科学	1後		2								1	
	健康科学	1後		2								1	
メンタルヘルス論	1後		2								1		
スポーツ実習	1前・後		1								3		
	小計(19科目)	-	0	37	0							17	
	共通科目計	-	8	124	2								
ゼミ科目	大学入門ゼミ	1前・後		2			4	2		2		1	
	異動人入門ゼミ	1前・後		2			4	2		2		1	
	プレゼミ	2後		2			4	2		2			
	演習Ⅰ	3通		4			4	2		2			
	演習Ⅱ	4通		6			4	2		2			
		小計(5科目)	-	16	0	0	4	2		2			1
	ゼミ科目計	-	16	0	0								
①税理士関係科目	簿記論Ⅰ	1前		4								1	
	簿記論Ⅱ	1後		4								1	
	財務諸表論Ⅰ	1前		4								1	
	財務諸表論Ⅱ	1後		4								1	
		小計(4科目)	-	0	16	0							1
	資産運用実務Ⅰ	2前		4								3	
	資産運用実務Ⅱ	2後		4								3	
		小計(2科目)	-	0	8	0							3
	不動産実務法務Ⅰ	1後		4								1	
	不動産実務法務Ⅱ	2前		2								1	
	不動産実務法務Ⅲ	2前		2								1	
		小計(3科目)	-	0	8	0							1
	IT戦略とマネジメント	2前		4								1	
情報化技術	2後		4								1		
	小計(2科目)	-	0	8	0							1	
資本市場の役割と証券投資	2前		2								2		
	小計(1科目)	-	0	2	0							2	
	小計(1科目)	-	0	1又は2	0								
	能力開発科目計	-	0	42又は44	0								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助			
科目 自己理解系	日本国憲法Ⅰ	1前		2								1	
	日本国憲法Ⅱ	1後		2								1	
	日本外交史	1前		2								1	
	小計(12科目)	-	0	24	0							10	
他者理解系科目	世界の歴史Ⅰ	1前		2								1	
	世界の歴史Ⅱ	1後		2								1	
	世界の思想と現代社会Ⅰ	1前・後		2								1	
	世界の思想と現代社会Ⅱ	1後		2								1	
	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2								1	
	世界の宗教	1前		2								2	
	世界の地理Ⅰ	1後		2								1	
	世界の地理Ⅱ	1前		2								1	
	世界の憲法	1後		2								1	
		国際関係史	1後		2							1	
	小計(10科目)	-	0	20	0							8	
基礎教養科目	社会心理学	1後		2								1	
	生命倫理	1前		2								1	
	日本文学A	1前		2								1	
	日本文学B	1後		2								1	
	外国文学A	1後		2								3	
	現代社会と人権	1後		2								1	
	環境法	1前		2								1	
	テクノロジーと社会・経済	1前		2								1	
	情報とネットワーク社会	1後		2								1	
	数学A	1前		2								1	
	数学B	1後		2								1	
	数学C	2前		2								1	
	自然科学A	1前		2								1	
	自然科学B	1後		2								1	
	自然科学C	1休		2								1	
	スポーツ科学	1後		2								1	
	健康科学	1後		2								1	
メンタルヘルス論	1後		2								1		
スポーツ実習	1前・後		1								3		
	小計(19科目)	-	0	37	0							17	
	共通科目計	-	8	128	2								
ゼミ科目	大学入門ゼミ	1前・後		2			4	2		2		2	
	異動人入門ゼミ	1前・後		2			4	2		2		2	
	プレゼミ	2後		2			4	2		2			
	演習Ⅰ	3通		4			4	2		2			
	演習Ⅱ	4通		6			4	2		2			
		小計(5科目)	-	16	0	0	4	2		2			2
	ゼミ科目計	-	16	0	0								
①税理士関係科目	簿記論Ⅰ	1前		4								1	
	簿記論Ⅱ	1後		4								1	
	財務諸表論Ⅰ	1前		4								1	
	財務諸表論Ⅱ	1後		4								1	
		小計(4科目)	-	0	16	0							1
	資産運用実務Ⅰ	2前		4								3	
	資産運用実務Ⅱ	2後		4								3	
		小計(2科目)	-	0	8	0							3
	不動産実務法務Ⅰ	1休		4								1	
	不動産実務法務Ⅱ	2前		2								1	
	不動産実務法務Ⅲ	2前		2								1	
		小計(3科目)	-	0	8	0							1
	IT戦略とマネジメント	2前		4								1	
情報化技術	2後		4								1		
	小計(2科目)	-	0	8	0							1	
資本市場の役割と証券投資	2前		2								2		
	小計(1科目)	-	0	2	0							2	
	小計(1科目)	-	0	1又は2	0								
	能力開発科目計	-	0	43又は44	0								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
ビジネス情報学 情報学 情報学関係分野科目	オペレーションズ・リサーチ	2前	2			1							
	ビジネスデータ分析	3後	2			1							
	AIとビジネス	3後	2				1						
	電子金融取引Ⅰ	3前	2						1				
	電子金融取引Ⅱ	3後	2						1				
	顧客関係管理と知的情報ベース	3後	2						1				
	IT応用事例研究	3後	2						1				
	プロジェクトマネジメント	3前	2									1	
	リスクマネジメント	3後	2									1	
	生産管理論	3前	2									1	
	流通システム論Ⅰ	2前	2									1	
	流通システム論Ⅱ	2後	2									1	
	中級簿記演習	1後	4										1
	情報システム論Ⅰ	2前	2				1						
	情報システム論Ⅱ	2後	2				1						
	データベース論	2後	2				1						
	マルチメディア論	3前	2									1	
	データマイニング論	3前	2					1					
	情報社会と情報倫理	3前	2									1	
	情報と職業	3後	2									1	
	情報処理演習A	2前	2				1						
	モバイルアプリ演習	2後	2				1						
情報処理演習C	2後	2							1				
画像処理演習	2後	2									1		
情報システム演習	3前	2					1						
マルチメディア演習	3休	2									1		
データマイニング演習	3前	2					1						
小計(27科目)			0	56	0	3	2			2		7	
ビジネス情報学 情報学関係分野科目計			12	102	0								
合計(247科目)			36	397又は 438	30	4	2			2		127	

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】
以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選択科目88単位以上〔選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上〕)を修得すること。
(科目区分)
①共通科目
1) 必修科目8単位
2) 選択必修科目14単位以上
3) 選択科目8単位以上
②ゼミ科目
1) 必修科目16単位
③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目
(能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得した単位数)
1) 選択科目24単位以上
④ビジネス情報学関係分野科目(経済学関係分野科目)
1) 必修科目12単位
2) 選択科目42単位以上
【履修方法】
履修科目の登録の上限: 1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年次生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
ビジネス情報学 情報学 情報学関係分野科目	オペレーションズ・リサーチ	2前	2			1							
	ビジネスデータ分析	3後	2			1							
	AIとビジネス	3後	2						1				
	電子金融取引Ⅰ	3前	2								1		
	電子金融取引Ⅱ	3後	2								1		
	顧客関係管理と知的情報ベース	3後	2								1		
	IT応用事例研究	3後	2								1		
	プロジェクトマネジメント	3前	2										1
	リスクマネジメント	3後	2										1
	生産管理論	3前	2										1
	流通システム論Ⅰ	2前	2										1
	流通システム論Ⅱ	2後	2										1
	中級簿記演習	1後	4										1
	情報システム論Ⅰ	2前	2							1			
	情報システム論Ⅱ	2後	2							1			
	データベース論	2後	2						1				
	マルチメディア論	3前	2										1
	データマイニング論	3前	2								1		
	情報社会と情報倫理	3前	2										1
	情報と職業	3後	2										1
	情報処理演習A	2前	2				1						
	モバイルアプリ演習	2後	2				1						
情報処理演習C	2後	2								1			
画像処理演習	2後	2										1	
情報システム演習	3前	2								1			
マルチメディア演習	3休	2										1	
データマイニング演習	3前	2								1			
小計(27科目)			0	56	0	3	2			2		7	
ビジネス情報学 情報学関係分野科目計			12	102	0								
合計(250科目)			36	403又は 444	30	4	2			2		127	

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】
以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選択科目88単位以上〔選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上〕)を修得すること。
(科目区分)
①共通科目
1) 必修科目8単位
2) 選択必修科目14単位以上
3) 選択科目8単位以上
②ゼミ科目
1) 必修科目16単位
③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目
(能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得した単位数)
1) 選択科目24単位以上
④ビジネス情報学関係分野科目(経済学関係分野科目)
1) 必修科目12単位
2) 選択科目42単位以上
【履修方法】
履修科目の登録の上限: 1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年次生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 担当者就任辞退及びクラス再編の理由により、外国語科目の教員の配置小計を「兼任・兼任29」から「兼任・兼任28」へ変更
- ・ 「文章表現演習・標準」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更
- ・ 教育内容充実の理由により、授業科目「日本外交史」「国際関係史」「International Economics」を新規に追加
- ・ 「世界の歴史Ⅰ・Ⅱ」担当者就任辞退の理由により教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更
- ・ 担当教員の本務校業務により、「環境法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「不動産実務法務Ⅰ」の配当年次を「1後」から「1休」に変更
- ・ 「Environment and Business」担当者誤植の理由により、教員の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」へ変更
- ・ 「教職入門」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「教育制度論」の配当年次を「2前」から「2後」に変更
- ・ 教職再課程認定により、授業科目の名称を「教育方法学」から「教育方法学（教育課程論を含む）」に変更
- ・ 「教育実習Ⅰ・Ⅲ」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	213 科目	16 科目	247 科目	18 科目 []	216 科目 [3]	16 科目 []	250 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{247} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	91,279.12㎡	0㎡	0㎡	91,279.12㎡			
	運 動 場 用 地	120,117.63㎡	0㎡	0㎡	120,117.63㎡			
	小 計	211,396.75㎡	0㎡	0㎡	211,396.75㎡			
	そ の 他	1,645.68㎡	0㎡	0㎡	1,645.68㎡			
	合 計	213,042.43㎡	0㎡	0㎡	213,042.43㎡			
(2) 校 舎	専 用	55,478.94㎡	0㎡	0㎡	55,478.94㎡			
	(55,478.94㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(55,478.94㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体		
	25室	64室	25室	0室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年3月31日付でメディアビジネス学科専任教員1名が退職したため(元)		
	メディアビジネス学部		16 -17 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定が不能なため、大学全体の数は除外したため(元)
	メディアビジネス学部	507,810 [133,108] (483,210 [128,932]) (478,810 [127,424])	4,969 [1,314] (5,099 [1,300]) (4,909 [1,294])	7,050 [6,960] (2,545 [2,462]) (6,407 [6,327])	6,120 (5,428) (5,960)	0 (0)	0 (0)	
	計	507,810 [133,108] (483,210 [128,932]) (478,810 [127,424])	4,969 [1,314] (5,099 [1,300]) (4,909 [1,294])	7,050 [6,960] (2,545 [2,462]) (6,407 [6,327])	6,120 (5,428) (5,960)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	8,685.28㎡		441席		477,750冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	9,906.56㎡		総合グラウンド・フットボールパーク 野球場・テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	1,777千円	4,000千円	4,000千円
	共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	50,000千円	8,200千円	8,200千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		880千円	880千円	880千円	880千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島経済大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
経済学部										
経済学科	4	330	若干	1,320	学士 (経済学)	0.95		昭和42年度	広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番1号	※平成31年4月学生募集停止 ※平成31年4月学生募集停止 ※平成31年4月学生募集停止 ※平成31年4月学生募集停止
経営学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		昭和49年度	同上	
ビジネス情報学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成14年度	同上	
メディアビジネス学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成16年度	同上	
スポーツ経営学科	4	-	-	-	学士 (スポーツ経営学)	-		平成23年度	同上	
経営学部										
経営学科	4	310	若干	310	学士 (経営学)	1.00		平成31年度	広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番1号	
スポーツ経営学科	4	70	-	70	学士 (スポーツ経営学)	0.82		平成31年度	同上	
メディアビジネス学部										
ビジネス情報学科	4	80	若干	80	学士 (経営学)	0.90		平成31年度	広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番1号	
メディアビジネス学科	4	60	若干	60	学士 (経営学)	1.11		平成31年度	同上	
大学全体	4	850	若干	1,840	-	-		-	-	
大学院経済学研究科 経済学専攻										
博士課程後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.22		平成2年度		
博士課程前期課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.95		昭和54年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<メディアビジネス学部 ビジネス情報学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	職名		職名
	担当授業科目名		担当授業科目名
専任	丹羽 啓一 (46) <平成31年4月> 博士(工学)	専任	丹羽 啓一 (46) <平成31年4月> 博士(工学)
専任	教授(学科学主任) 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 情報入門演習S 情報処理論B ビジネス情報入門ゼミ オペレーションズ・リサーチ データベース論 情報処理演習A	専任	教授(学科学主任) 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 情報入門演習S 情報処理論B ビジネス情報入門ゼミ オペレーションズ・リサーチ データベース論 情報処理演習A
専任	高岡 善幸 (69(高)) <平成31年4月> Bachelor of Science(7月)	専任	高岡 善幸 (69(高)) <平成31年4月> Bachelor of Science(7月)
専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ ビジネス情報入門※ ビジネス概論	専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ ビジネス情報入門※ ビジネス概論
専任	堀江 浩司 (48) <令和2年4月> 修士(経営学)※	専任	堀江 浩司 (48) <令和2年4月> 修士(経営学)※
専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ インターンシップⅠ(国内) ビジネス概論	専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ インターンシップⅠ(国内) ビジネス概論
専任	田中 章司部 (62) <平成31年4月> 博士(学術)	専任	田中 章司部 (62) <平成31年4月> 博士(学術)
専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ Environment and Business コンピュータ入門 情報処理基礎 コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 情報処理論A モバイルアプリ演習	専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ Environment and Business コンピュータ入門 情報処理基礎 コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 情報処理論A モバイルアプリ演習
専任	山村 耕一郎 (69(高)) <平成31年4月> 農学博士	専任	山村 耕一郎 (69(高)) <平成31年4月> 農学博士
専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 情報入門演習S	専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 情報入門演習S
専任	得津 康義 (47) <令和2年4月> 博士(経済学)	専任	得津 康義 (47) <令和2年4月> 博士(経済学)
専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 人の行動を経済学で読み解く【隔年】 ビジネス統計学 ビジネスデータ分析	専任	教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 人の行動を経済学で読み解く【隔年】 ビジネス統計学 ビジネスデータ分析
兼任	得津 康義 (46) <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	得津 康義 (46) <平成31年4月> 博士(経済学)
兼任	人の行動を経済学で読み解く【隔年】	兼任	人の行動を経済学で読み解く【隔年】
専任	石野 亜那 (34) <平成31年4月> 博士(情報科学)	専任	石野 亜那 (34) <平成31年4月> 博士(情報科学)
専任	准教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 情報入門演習S ビジネス情報入門ゼミ AIとビジネス データマイニング論 データマイニング演習	専任	准教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 情報入門演習S ビジネス情報入門ゼミ AIとビジネス データマイニング論 データマイニング演習
専任	杉山 克典 (44) <平成31年4月> 修士(経済学)	専任	杉山 克典 (44) <平成31年4月> 修士(経済学)
専任	准教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ ビジネス情報入門※ 情報入門演習S 情報ネットワーク論 ビジネス情報入門ゼミ 情報システム論Ⅰ 情報システム論Ⅱ 情報システム演習	専任	准教授 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ ビジネス情報入門※ 情報入門演習S 情報ネットワーク論 ビジネス情報入門ゼミ 情報システム論Ⅰ 情報システム論Ⅱ 情報システム演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専 助教	助教	久保 大支 (53) <平成31年4月> 修士(経済学)※	専 助教	助教	久保 大支 (53) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		大学入門ゼミ 異動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 経済入門 Web演習 ビジネス情報入門ゼミ 電子金融取引Ⅰ 電子金融取引Ⅱ IT応用事例研究 情報処理演習C			大学入門ゼミ 異動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 経済入門 Web演習 ビジネス情報入門ゼミ 電子金融取引Ⅰ 電子金融取引Ⅱ IT応用事例研究 情報処理演習C
専 助教	助教	関 隆教 (37) <平成31年4月> 修士(商学)※	専 助教	助教	関 隆教 (37) <平成31年4月> 修士(商学)※
		大学入門ゼミ 異動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 経営入門 ビジネス情報入門※(平31) ビジネス情報入門※(令2~) ビジネスと戦略 インターネット・マーケティング論 ビジネス情報入門ゼミ 顧客関係管理と知的情報ベース			大学入門ゼミ 異動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 経営入門 ビジネス情報入門※(平31) ビジネス情報入門※(令2~) ビジネスと戦略 インターネット・マーケティング論 ビジネス情報入門ゼミ 顧客関係管理と知的情報ベース
兼任 教授	教授	新垣 繁秀 (55) <平成31年4月> 経済学修士※	兼任 教授	教授	新垣 繁秀 (55) <平成31年4月> 経済学修士※
		人の行動を経済学で読み解く【兩年】 マクロ経済学基礎Ⅰ			人の行動を経済学で読み解く【兩年】 マクロ経済学基礎Ⅰ
兼任 教授	教授	小笠原 礼以 (51) <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任 教授	教授	小笠原 礼以 (51) <令和2年4月> 修士(経済学)※
		インターンシップⅠ(国内)			インターンシップⅠ(国内)
兼任 教授	教授	岡田 斎 (66) <令和2年4月> 博士(経営学)、博士(工学)	兼任 教授	教授	岡田 斎 (66) <令和2年4月> 博士(経営学)、博士(工学)
		インターンシップⅠ(国内) 経営情報論 生産管理論			インターンシップⅠ(国内) 経営情報論 生産管理論
兼任 教授	教授	岡本 恵子 (64) <平成31年4月> 文学修士	兼任 教授	教授	岡本 恵子 (64) <平成31年4月> 文学修士
		ビジネス日本語演習 文章表現演習・発展 日本文学A インターンシップⅠ(国内) 文章創作実証			ビジネス日本語演習 文章表現演習・発展 日本文学A 大学入門ゼミ 異動人入門ゼミ インターンシップⅠ(国内) 文章創作実証
兼任 教授	教授	岡本 貞雄 (66) <平成31年4月> 文学修士※	兼任 教授	教授	岡本 貞雄 (66) <平成31年4月> 文学修士※
		日本の思想と文化 日本の宗教 福(ZEN)で元気なことからだを つくろう			日本の思想と文化 日本の宗教 福(ZEN)で元気なことからだを つくろう
兼任 教授(学長)	教授(学長)	小谷 幸生 (67) <平成31年4月> Master of Business Administration(7月)	兼任 教授(学長)	教授(学長)	小谷 幸生 (67) <平成31年4月> Master of Business Administration(7月)
		わが人生の転機Ⅰ(教職員編)			わが人生の転機Ⅰ(教職員編)
兼任 教授	教授	神田 義浩 (60) <平成31年4月> 文学修士※	兼任 教授	教授	神田 義浩 (60) <平成31年4月> 文学修士※
		社会心理学 大学入門ゼミ 異動人入門ゼミ 教育心理学Ⅰ 教育心理学Ⅱ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅲ			社会心理学 大学入門ゼミ 異動人入門ゼミ 教育心理学Ⅰ 教育心理学Ⅱ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅲ
兼任 教授	教授	北野 尚人 (62) <平成31年4月> 経済学士	兼任 教授	教授	北野 尚人 (62) <平成31年4月> 経済学士
		コピーライティング実践講座			コピーライティング実践講座
兼任 教授	教授	宜名 眞 勇 (68) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(7月)	兼任 教授	教授	宜名 眞 勇 (68) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(7月)
		International Trade			International Trade

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	高石 哲弥 (51) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	高石 哲弥 (51) <平成31年4月> 博士(理学)
		数学A 数学B 数学C 自然科学A 自然科学B 社会人基礎学力応用 インターンシップI(国内)			数学A 数学B 数学C 自然科学A 自然科学B 社会人基礎学力応用 インターンシップI(国内)
兼任	教授	田中 泉 (61) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	教授	田中 泉 (61) <平成31年4月> 文学修士※
		広島の世界史と文化※ 世界の歴史I 世界の歴史II 世界の宗教※ 広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人 教職入門※ 教育実習I 教育実習III			広島の世界史と文化※ 世界の歴史I 世界の歴史II 世界の宗教※ 広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人 教職入門※ 教育実習I 教育実習III
兼任	教授	田辺 洋子 (64) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	田辺 洋子 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		必修英語A I 必修英語A II 英語理解・標準I 英語理解・標準II			必修英語A I 必修英語A II 英語理解・標準I 英語理解・標準II
兼任	教授	風森 裕福 (55) <令和3年4月> 博士(教育学)	兼任	教授	風森 裕福 (55) <平成31年4月> 博士(教育学)
		教育実習I 教育実習III 教職実践演習(中・高)			教職入門 教育実習I 教育実習III 教職実践演習(中・高)
			兼任	教授	寺本 康利 (65) <平成31年4月> 博士(法学)
					日本外交史 国際関係史
兼任	教授	永田 靖 (52) <平成31年4月> 博士(マネジメント)			
		インターンシップI(国内) 経営実践			
			兼任	教授	林 和夫 (62) <令和2年4月> 修士(経営学)
					インターンシップI(国内)
			兼任	准教授	藤原 久嗣 (52) <平成31年4月> 修士(経営学)
					経営実践
兼任	教授	鎌谷 英輝 (59) <令和2年4月> 法学士	兼任	教授	鎌谷 英輝 (59) <令和2年4月> 法学士
		資本市場の役割と証券投資			資本市場の役割と証券投資
兼任	教授	長谷川 泰志 (60) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	教授	長谷川 泰志 (60) <平成31年4月> 文学修士※
		日本語文章表現 文章検演習 ビジネス日本語演習 日本文学B 企画力養成講座			日本語文章表現 文章検演習 ビジネス日本語演習 日本文学B 企画力養成講座
兼任	教授	濱 慎一 (69) <令和3年4月> Doctor of Philosophy(7/7)	兼任	教授	濱 慎一 (69) <令和3年4月> Doctor of Philosophy(7/7)
		マルチメディア論			マルチメディア論
兼任	教授	濱田 敏彦 (57) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	教授	濱田 敏彦 (57) <平成31年4月> 文学修士※
		日本の歴史II 広島の世界史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう			日本の歴史II 広島の世界史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	George R. Harada (59) <平成31年4月> 法学修士※	兼任	教授	George R. Harada (59) <平成31年4月> 法学修士※
		日本国憲法 I 日本国憲法 II 現代社会と人権 広い世界に飛び出そう Practical Management Theory for International Students I Practical Management Theory for International Students II Independent Study I Independent Study II Japanese Law and Society I Japanese Law and Society II Theory and Practice of Budo※ Study on International Issues and Challenges			日本国憲法 I 日本国憲法 II 現代社会と人権 広い世界に飛び出そう Practical Management Theory for International Students I Practical Management Theory for International Students II Independent Study I Independent Study II Japanese Law and Society I Japanese Law and Society II Theory and Practice of Budo※ Study on International Issues and Challenges
兼任	教授	平岡 賢治 (68) <平成31年4月> 理学修士※	兼任	教授	平岡 賢治 (68) <平成31年4月> 理学修士※
		数学 A 数学 B 数学 C 社会人基礎学力応用			数学 A 数学 B 数学 C 社会人基礎学力応用
兼任	教授	平本 賢了 (55) <平成31年4月> 修士(経済学)※	兼任	教授	平本 賢了 (55) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		インドネシア語 I インドネシア語 II インターシシップ II (海外)			インドネシア語 I インドネシア語 II インターシシップ II (海外)
兼任	教授	広田 堅志 (48) <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	広田 堅志 (48) <平成31年4月>※令和元年海外留学 博士(経済学)
		ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう			ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう
			兼任	講師	栗原 理 (83) <平成31年4月> 博士(商学)
					ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう
兼任	教授	福居 信幸 (64) <令和2年4月> 経済学士	兼任	教授	福居 信幸 (64) <令和2年4月> 経済学士
		資本市場の役割と証券投資			資本市場の役割と証券投資
兼任	教授	細井 謙一 (52) <令和2年4月> 修士(商学)※	兼任	教授	細井 謙一 (52) <令和2年4月> 修士(商学)※
		流通システム論 I 流通システム論 II			流通システム論 I 流通システム論 II
兼任	教授	堀江 真由美 (54) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	堀江 真由美 (54) <令和2年4月> 博士(経済学)
		ミクロ経済学基礎 I			ミクロ経済学基礎 I
兼任	教授	松本 耕二 (51) <平成31年4月> 修士(体育学)	兼任	教授	松本 耕二 (51) <平成31年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実習			スポーツ実習
兼任	教授	宮岡 弥生 (52) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	教授	宮岡 弥生 (52) <平成31年4月> 博士(学術)
		日本語(基礎B) 日本語(基礎F)			日本語(基礎B) 日本語(基礎F)
兼任	教授	宮畑 加奈子 (55) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	教授	宮畑 加奈子 (55) <平成31年4月> 博士(法学)
		日本の法律 インターシシップ II (海外)			日本の法律 インターシシップ II (海外)
兼任	教授	餅川 正雄 (62) <平成31年4月> 経済学士	兼任	教授	餅川 正雄 (62) <平成31年4月> 経済学士
		生徒・進路指導論 教育実習 I 教育実習 III 中級簿記演習			わが人生の転機 II (両感生編) 生徒・進路指導論 教育実習 I 教育実習 III 中級簿記演習
兼任	教授	森田 裕司 (57) <平成31年4月> 文学修士	兼任	教授	森田 裕司 (57) <平成31年4月> 文学修士
		メンタルヘルス論 教育相談			メンタルヘルス論 教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 教授	スポーツ科学 スポーツ実習 インターシッピ I (国内) わが人生の転機 II (同窓生編)	柳川 和優 (60) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任 教授	スポーツ科学 スポーツ実習 インターシッピ I (国内) わが人生の転機 II (同窓生編)	柳川 和優 (60) <平成31年4月> 博士(教育学)
		山内 昌斗 (42) <平成31年4月> 博士(経営学)			
兼任 教授	わが人生の転機 II (同窓生編)	山本 公平 (54) <平成31年4月> 修士(経済学)※	兼任 講師	「美しい」のパワー・生きる力	山本 公平 (54) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		「美しい」のパワー・生きる力			
兼任 教授	必修英語 B I 必修英語 B II 必修英語 C II Academic Writing in English 世界の思想と現代社会 I 広い世界に飛び出そう 広島とハワイで学ぼう！めざせ国際人 Japanese Religion and Culture	山本 貴裕 (52) <平成31年4月> 文学修士※	兼任 教授	必修英語 B I 必修英語 B II 必修英語 C II Academic Writing in English 世界の思想と現代社会 I 広い世界に飛び出そう 広島とハワイで学ぼう！めざせ国際人 Japanese Religion and Culture	山本 貴裕 (52) <平成31年4月> 文学修士※
		山本 雅昭 (55) <平成31年4月> Philosophy of Doctor (特'別)			山本 雅昭 (55) <平成31年4月> Philosophy of Doctor (特'別)
兼任 教授	テクノロジーと社会・経済 情報とネットワーク社会 インターシッピ I (国内) 情報技術論	山本 雅昭 (55) <平成31年4月> Philosophy of Doctor (特'別)	兼任 教授	テクノロジーと社会・経済 情報とネットワーク社会 インターシッピ I (国内) 情報技術論	山本 雅昭 (55) <平成31年4月> Philosophy of Doctor (特'別)
		橋 義申 (49) <令和3年4月> 博士(経済学)			橋 義申 (49) <令和3年4月> 博士(経済学)
兼任 教授	インターシッピ II (海外)	橋 義申 (49) <令和3年4月> 博士(経済学)	兼任 教授	インターシッピ II (海外)	橋 義申 (49) <令和3年4月> 博士(経済学)
		渡辺 勇一 (68) <令和2年4月> 法学士			渡辺 勇一 (68) <令和2年4月> 法学士
兼任 准教授	わが人生の転機 I (教職員編)	石田 優子 (45) <平成31年4月> 修士(経済学)※	兼任 准教授	わが人生の転機 I (教職員編)	石田 優子 (45) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		梶原 英二 (51) <平成31年4月> 修士(学術)※			梶原 英二 (51) <平成31年4月> 修士(学術)※
兼任 准教授	必修英語 A I 必修英語 A II	梶原 英二 (51) <平成31年4月> 修士(学術)※	兼任 准教授	必修英語 A I 必修英語 A II	梶原 英二 (51) <平成31年4月> 修士(学術)※
		木本 一成 (60) <平成31年4月> 修士(教育学)			木本 一成 (60) <平成31年4月> 修士(教育学)
兼任 准教授	日本語文章表現 文章読演習 日本語演習・標準 文章表現演習・標準 日本語演習・発展 女子学生のためのキャリア形成入門	木本 一成 (60) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任 准教授	日本語文章表現 文章読演習 日本語演習・標準 文章表現演習・標準 日本語演習・発展 女子学生のためのキャリア形成入門	木本 一成 (60) <平成31年4月> 修士(教育学)
		坂間 十和子 (32) <令和2年4月> 修士(商学)※			坂間 十和子 (32) <令和2年4月> 修士(商学)※
兼任 准教授	マーケティング論基礎	坂間 十和子 (32) <令和2年4月> 修士(商学)※	兼任 准教授	マーケティング論基礎	坂間 十和子 (32) <令和2年4月> 修士(商学)※
		迫田 奈美子 (44) <平成31年4月> Master of Arts (特'別)			迫田 奈美子 (44) <平成31年4月> Master of Arts (特'別)
兼任 准教授	必修英語 B I 必修英語 B II 英語理解・発展 I 英語理解・発展 II 女子学生のためのキャリア形成入門	迫田 奈美子 (44) <平成31年4月> Master of Arts (特'別)	兼任 准教授	必修英語 B I 必修英語 B II 英語理解・発展 I 英語理解・発展 II 女子学生のためのキャリア形成入門	迫田 奈美子 (44) <平成31年4月> Master of Arts (特'別)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	澤 滋久 (54) <平成31年4月> 修士(理学)※	兼任	准教授	澤 滋久 (54) <平成31年4月> 修士(理学)※
		世界の宗教※ インターンシップ I (国内)			世界の宗教※ インターンシップ I (国内)
兼任	准教授	重野(白田) 裕美 (35) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	重野(白田) 裕美 (35) <平成31年4月> 博士(学術)
		ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践			日本語文章表現 ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践
兼任	准教授	竹林 栄治 (53) <平成31年4月> 経済学修士※	兼任	准教授	竹林 栄治 (53) <平成31年4月> 経済学修士※
		ドイツ語 I ドイツ語 II			ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	准教授	Kenneth I. Tsuye (66) <平成31年4月> Doctor of Business Administration(7列挙)	兼任	准教授	Kenneth I. Tsuye (66) <平成31年4月> Doctor of Business Administration(7列挙)
		Independent Study III Independent Study IV			Independent Study III Independent Study IV
兼任	准教授	土屋 祐子 (48) <平成31年4月> 修士(学際情報学)	兼任	准教授	土屋 祐子 (48) <平成31年4月> 修士(学際情報学)
		「私たちの広島」PR実践			「私たちの広島」PR実践
兼任	准教授	堂本(村田) 絵理 (40) <令和3年4月> 博士(情報科学)	兼任	准教授	堂本(村田) 絵理 (40) <令和3年4月> 博士(情報科学)
		マルチメディア論			マルチメディア論
兼任	准教授	中村 隆行 (61) <平成31年4月> 法学修士※	兼任	准教授	中村 隆行 (61) <平成31年4月> 法学修士※
		身近なボランティア活動 NPO・NGOの立ち上げと活動 奨励館プロジェクトの計画と実施 奨励館プロジェクトの評価と改善 奨励館プロジェクトの経営戦略			身近なボランティア活動 NPO・NGOの立ち上げと活動 奨励館プロジェクトの計画と実施 奨励館プロジェクトの評価と改善 奨励館プロジェクトの経営戦略
兼任	准教授	宮地 英和 (45) <平成31年4月> 博士(芸術)	兼任	准教授	宮地 英和 (45) <平成31年4月> 博士(芸術)
		ユニバーサルデザイン実践			ユニバーサルデザイン実践
兼任	准教授	三山 緑 (44) <平成31年4月> 修士(教育学)※			
		教職入門※ 教育原理 教育制度論 教育実習 I 教育実習 III			
			兼任	講師	岡本 敬 (66) <令和2年4月> 教育学修士※
					教育制度論
			兼任	講師	宮崎 麻子 (40) <平成31年4月> 修士(教育学)
					教育原理
兼任	准教授	本岡 亜沙子 (38) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	本岡 亜沙子 (38) <平成31年4月> 博士(文学)
		必修英語 A I 必修英語 A II 必修英語 C I 外国文学 A ※			必修英語 A I 必修英語 A II 必修英語 C I 外国文学 A ※
兼任	准教授	森山(丹羽) 玲子 (47) <平成31年4月> 修士(経済学)※	兼任	准教授	森山(丹羽) 玲子 (47) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		女子学生のためのキャリア形成入門			女子学生のためのキャリア形成入門
兼任	准教授	山根(大和田) 智沙子 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	准教授	山根(大和田) 智沙子 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)
		インターンシップ I (国内) 人の行動を経済学で読み解く【隔年】			インターンシップ I (国内) 人の行動を経済学で読み解く【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	准教授	John, A. S. Wild (54) <平成31年4月> Master of Social Science(7月功)	兼任	准教授	John, A. S. Wild (54) <平成31年4月> Master of Social Science(7月功)
		必修英語B I 必修英語B II 英語表現・発展 I 英語表現・発展 II 海外研修英語 I 海外研修英語 II ビジネス英語 I ビジネス英語 II			必修英語B I 必修英語B II 英語表現・発展 I 英語表現・発展 II 海外研修英語 I 海外研修英語 II ビジネス英語 I ビジネス英語 II
兼任	准教授	渡辺 泰弘 (39) <平成31年4月> 博士(スポーツ健康科学)	兼任	准教授	渡辺 泰弘 (39) <平成31年4月> 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツ実習 (55)			スポーツ実習 (55)
			兼任	講師	合田 優子 (30) <平成31年4月> 修士(学術)※
					必修英語B I 必修英語B II 実務英語III 実務英語IV
兼任	講師	藤田 香織 (40) <平成31年4月> 学士(人文学)	兼任	講師	藤田 香織 (40) <平成31年4月> 学士(人文学)
		必修英語A I 必修英語A II 必修英語C I			必修英語A I 必修英語A II 必修英語C I
兼任	講師	Forrest, Richard Andrew (55) <平成31年4月> Master of Public Policy※ (7月功)	兼任	講師	Forrest, Richard Andrew (55) <平成31年4月> Master of Public Policy※ (7月功)
		必修英語B I 必修英語B II 英語表現・基礎徹底 I 英語表現・基礎徹底 II Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment			必修英語B I 必修英語B II 英語表現・基礎徹底 I 英語表現・基礎徹底 II 実務英語・標準 I 実務英語・標準 II Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment
兼任	講師	森谷 浩士 (47) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	森谷 浩士 (47) <平成31年4月> 修士(文学)
		必修英語A I 必修英語A II			必修英語A I 必修英語A II
兼任	助教	東 幸代 (31) <令和2年4月> 修士(経営学)	兼任	助教	東 幸代 (31) <令和2年4月> 修士(経営学)
		会計学基礎			会計学基礎
兼任	助教	角 裕太 (29) <令和2年4月> 博士(経営学)	兼任	助教	角 裕太 (29) <令和2年4月> 博士(経営学)
		会計学基礎			会計学基礎
兼任	助教	Mark J. Tankosich (60) <平成31年4月> Master of Arts(7月功)	兼任	助教	Mark J. Tankosich (60) <平成31年4月> Master of Arts(7月功)
		必修英語B I 必修英語B II 発展英会話 I 発展英会話 II Theory and Practice of Budo※			必修英語B I 必修英語B II 発展英会話 I 発展英会話 II Theory and Practice of Budo※
兼任	助教	平下 義記 (33) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	平下 義記 (33) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の歴史 I			日本の歴史 I
兼任	助教	藤山 和久 (36) <平成31年4月> 修士(英米言語文化)※	兼任	助教	藤山 和久 (36) <平成31年4月> 修士(英米言語文化)※
		必修英語B I 必修英語B II 外国文学A※			必修英語B I 必修英語B II 外国文学A※
兼任	助教	宮辻 渉 (36) <令和2年4月> 博士(経営学)	兼任	助教	宮辻 渉 (36) <令和2年4月> 博士(経営学)
		経営管理論基礎			経営管理論基礎
兼任	助教	森 瑞樹 (38) <平成31年4月> 博士(言語文化学)	兼任	准教授	森 瑞樹 (38) <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		英語理解・発展 I 英語理解・発展 II 実務英語 I 実務英語 II 外国文学A※			英語理解・発展 I 英語理解・発展 II 実務英語 I 実務英語 II 外国文学A※
兼任	講師	青木 利夫 (54) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	青木 利夫 (54) <平成31年4月> 博士(社会学)
		スペイン語 I スペイン語 II			スペイン語 I スペイン語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	安部 貴彦 (58) <平成31年4月> 専学士	兼任	講師	安部 貴彦 (58) <平成31年4月> 専学士
		権(ZEN)で元気なことからだをつくらう			権(ZEN)で元気なことからだをつくらう
兼任	講師	池松 由紀 (44) <令和2年4月> 専学士	兼任	講師	池松 由紀 (44) <令和2年4月> 専学士
		キャリアスキルズⅠ			キャリアスキルズⅠ
兼任	講師	石田 知美 (45) <令和2年4月> 学士(文学)	兼任	講師	石田 知美 (45) <令和2年4月> 学士(文学)
		資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ			資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ
兼任	講師	伊豆田 功 (52) <平成31年4月> 経済学士	兼任	講師	伊豆田 功 (52) <平成31年4月> 経済学士
		ビジネス・シミュレーション・ゲーム			ビジネス・シミュレーション・ゲーム
兼任	講師	岩國 智子 (45) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	岩國 智子 (45) <平成31年4月> 修士(文学)
		必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語表現・基礎徹底Ⅰ 英語表現・基礎徹底Ⅱ			必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語表現・基礎徹底Ⅰ 英語表現・基礎徹底Ⅱ
兼任	講師	David Williams (45) <平成31年4月> Bachelor of Arts, Bachelor of Science(特許)	兼任	講師	David Williams (45) <平成31年4月> Bachelor of Arts, Bachelor of Science(特許)
		必修英語BⅠ 必修英語BⅡ			必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 基礎実英語Ⅰ 基礎実英語Ⅱ
兼任	講師	大多 正人 (56) <令和2年4月> 文士	兼任	講師	大多 正人 (56) <令和2年4月> 文士
		キャリアスキルズⅡ			キャリアスキルズⅡ
兼任	講師	岡田 高嘉 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	岡田 高嘉 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)
		世界の憲法			世界の憲法
			兼任	講師	萩野 寛 (53) <平成31年4月> 修士(経営学)
					International Economics
兼任	講師	梶川 正 (67) <令和3年4月> 商学修士	兼任	講師	梶川 正 (67) <令和3年4月> 商学修士
		情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ 情報と職業 情報社会と情報倫理			情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ 情報と職業 情報社会と情報倫理
兼任	講師	柏木 士郎 (47) <平成31年4月> 修士(経済学)※	兼任	講師	柏木 士郎 (47) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		社会人基礎学力基礎			社会人基礎学力基礎
兼任	講師	金原 光広 (56) <平成31年4月> 社会科修士	兼任	講師	金原 光広 (56) <平成31年4月> 社会科修士
		ビジネス・シミュレーション・ゲーム			ビジネス・シミュレーション・ゲーム
兼任	講師	家村(宮岸) 伸子 (50) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	家村(宮岸) 伸子 (50) <平成31年4月> 博士(教育学)
		日本語文章表現 日本語(基礎C) 日本語(基礎D) 日本語(発展A) ビジネス日本語A			日本語文章表現 日本語(基礎C) 日本語(基礎D) 日本語(発展A) ビジネス日本語A
兼任	講師	河口 忠史 (57) <平成31年4月> 工学士	兼任	講師	河口 忠史 (57) <平成31年4月> 工学士
		不動産実務法務Ⅰ 不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ			不動産実務法務Ⅰ 不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ
兼任	講師	河野 弥生 (53) <平成31年4月> 修士(学術)※	兼任	講師	河野 弥生 (53) <平成31年4月> 修士(学術)※
		日本の政治			日本の政治
兼任	講師	記谷 伸彦 (45) <令和2年4月> 学士(工学)	兼任	講師	記谷 伸彦 (45) <令和2年4月> 学士(工学)
		画像処理演習 マルチメディア演習			画像処理演習 マルチメディア演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	金 炫勇 (45) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	金 炫勇 (45) <平成31年4月> 博士(教育学)
		韓国語 I 韓国語 II			韓国語 I 韓国語 II
兼任	講師	木村 亮平 (39) <平成31年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	木村 亮平 (39) <平成31年4月> 学士(経済学)
		プロスポーツによる広島活性化講座			プロスポーツによる広島活性化講座
兼任	講師	久保田 浩二 (62) <平成31年4月> 工学士	兼任	講師	久保田 浩二 (62) <平成31年4月> 工学士
		ビジネス・シミュレーション・ゲーム			ビジネス・シミュレーション・ゲーム
兼任	講師	熊尾 紗耶 (28) <平成31年4月> 修士(文学)			
		日本語文章表現			
			兼任	講師	坂水 達司 (29) <平成31年4月> 博士(学術)
					日本語文章表現
兼任	講師	倉橋 孝博 (48) <平成31年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	倉橋 孝博 (48) <平成31年4月> 学士(教育学)
		ライフプラン(人生設計)でやる気づくり			ライフプラン(人生設計)でやる気づくり
兼任	講師	坂本 小百合 (51) <平成31年4月> 教育学士	兼任	講師	坂本 小百合 (51) <平成31年4月> 教育学士
		情報入門演習 A 情報入門演習 B 情報活用演習 A 情報活用演習 B			情報入門演習 A 情報入門演習 B 情報活用演習 A 情報活用演習 B
兼任	講師	坂本 聖子 (59) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	坂本 聖子 (59) <平成31年4月> 修士(文学)※
		必修英語 B I 必修英語 B II			必修英語 B I 必修英語 B II
兼任	講師	坂本 はるえ (45) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	坂本 はるえ (45) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本語 B ※ 日本語(発展 C) ビジネス日本語 B			日本語 B ※ 日本語(発展 C) ビジネス日本語 B
兼任	講師	佐藤 達男 (57) <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	講師	佐藤 達男 (57) <令和3年4月> 博士(学術)
		プロジェクトマネジメント リスクマネジメント			プロジェクトマネジメント リスクマネジメント
兼任	講師	佐藤 道雄 (55) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	佐藤 道雄 (55) <平成31年4月> 文学修士
		日本語 A ※ 日本語 B ※			日本語 A ※ 日本語 B ※
兼任	講師	志賀 誠治 (63) <平成31年4月> 教育学士	兼任	講師	志賀 誠治 (63) <平成31年4月> 教育学士
		興動館プロジェクトとコミュニケーション			興動館プロジェクトとコミュニケーション
兼任	講師	周 麗 (29) <平成31年4月> 修士(文学)			
		資格英語 III 資格英語 IV			
兼任	講師	先坊 幸子 (44) <平成31年4月> 博士(文学)			
		文章表現演習・標準			
兼任	講師	Frank Thornton (58) <平成31年4月> Bachelor of Behavioral Science (7月功)	兼任	講師	Frank Thornton (58) <平成31年4月> Bachelor of Behavioral Science (7月功)
		スポーツで学ぶ共生力			スポーツで学ぶ共生力
兼任	講師	園田 真由 (41) <令和2年4月> 学士(文学)	兼任	講師	園田 真由 (41) <令和2年4月> 学士(文学)
		情報活用演習 C			情報活用演習 C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	竹本 伸 (64) ＜平成31年4月＞ 文学士	兼任	講師	竹本 伸 (64) ＜平成31年4月＞ 文学士
		日本の地理 世界の地理Ⅰ 世界の地理Ⅱ			日本の地理 世界の地理Ⅰ 世界の地理Ⅱ
兼任	講師	竹本 真希子 (47) ＜平成31年4月＞ Dr. rer. pol. (Doctor rerum politicarum) (博士)	兼任	講師	竹本 真希子 (47) ＜平成31年4月＞ Dr. rer. pol. (Doctor rerum politicarum) (博士)
		世界の思想と現代社会Ⅱ			世界の思想と現代社会Ⅱ
兼任	講師	田中 健 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	田中 健 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		生命倫理			生命倫理
兼任	講師	棚橋 久美子 (61) ＜平成31年4月＞ 文学修士※	兼任	講師	棚橋 久美子 (61) ＜平成31年4月＞ 文学修士※
		日本の歴史Ⅲ			日本の歴史Ⅲ
兼任	講師	土山 ゆかり (53) ＜令和2年4月＞ 経済学士	兼任	講師	土山 ゆかり (53) ＜令和2年4月＞ 経済学士
		IT戦略とマネジメント 情報化技術			IT戦略とマネジメント 情報化技術
兼任	講師	常山 慶三 (55) ＜令和2年4月＞ 経済学士	兼任	講師	常山 慶三 (55) ＜令和2年4月＞ 経済学士
		資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ			資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ
兼任	講師	土居 智典 (46) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	土居 智典 (46) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		世界の思想と現代社会Ⅲ			世界の思想と現代社会Ⅲ
兼任	講師	豊島 桂子 (64) ＜令和2年4月＞ Master of Arts(修士)	兼任	講師	豊島 桂子 (64) ＜令和2年4月＞ Master of Arts(修士)
		英語理解・基礎徹底Ⅰ 英語理解・基礎徹底Ⅱ			英語理解・基礎徹底Ⅰ 英語理解・基礎徹底Ⅱ
兼任	講師	仲村 正彦 (60) ＜平成31年4月＞ 農学士	兼任	講師	仲村 正彦 (60) ＜平成31年4月＞ 農学士
		森の社会貢献実践			森の社会貢献実践
兼任	講師	中元 さおり (45) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	中元 さおり (45) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		日本語文章表現 文章表現演習・標準			日本語文章表現 文章表現演習・標準
兼任	講師	中山(佐藤) 真美 (51) ＜令和3年4月＞ 学士(文学)	兼任	講師	中山(佐藤) 真美 (51) ＜令和3年4月＞ 学士(文学)
		教職教養 思考力開発			教職教養 思考力開発
兼任	講師	西本 純子 (60) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)※ Master of Arts(修士)	兼任	講師	西本 純子 (60) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)※ Master of Arts(修士)
		英語理解・基礎徹底Ⅰ 英語理解・基礎徹底Ⅱ 英語理解・標準Ⅰ 英語理解・標準Ⅱ			英語理解・基礎徹底Ⅰ 英語理解・基礎徹底Ⅱ 英語理解・標準Ⅰ 英語理解・標準Ⅱ
兼任	講師	西森 章子 (48) ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)	兼任	講師	西森 章子 (48) ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)
		教育方法学			教育方法学 (教育関係論を含む)
兼任	講師	野本 敏生 (55) ＜平成31年4月＞ 修士(法学)※	兼任	講師	野本 敏生 (55) ＜平成31年4月＞ 修士(法学)※
		環境法			環境法
兼任	講師	橋本 弘 (37) ＜平成31年4月＞ 学士(商学)	兼任	講師	橋本 弘 (37) ＜平成31年4月＞ 学士(商学)
		簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 財務諸表論Ⅰ 財務諸表論Ⅱ			簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 財務諸表論Ⅰ 財務諸表論Ⅱ
兼任	講師	波多間 純子 (52) ＜令和2年4月＞ 文学士	兼任	講師	波多間 純子 (52) ＜令和2年4月＞ 文学士
		資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ			資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	原田 浩幸 (58) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	原田 浩幸 (58) <平成31年4月> 博士(学術)
		自然科学C			自然科学C
兼任	講師	古田 ユミ (47) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	古田 ユミ (47) <平成31年4月> 修士(文学)※
		資格英語 I 資格英語 II			資格英語 I 資格英語 II
兼任	講師	古本 勝則 (64) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	古本 勝則 (64) <平成31年4月> 文学修士
		必修英語 A I 必修英語 A II			必修英語 A I 必修英語 A II
兼任	講師	Matthew Thomas Vaughan (40) <平成31年4月> Bachelor of International Studies (オーストラリア)	兼任	講師	Matthew Thomas Vaughan (40) <平成31年4月> Bachelor of International Studies (オーストラリア)
		必修英語 B I 必修英語 B II 英語表現・標準 I 英語表現・標準 II			必修英語 B I 必修英語 B II 英語表現・標準 I 英語表現・標準 II
兼任	講師	細川 志織 (44) <平成31年4月> 学士(外国研究)	兼任	講師	細川 志織 (44) <平成31年4月> 学士(外国研究)
		興動館プロジェクトと企画力			興動館プロジェクトと企画力
兼任	講師	堀江 清二 (46) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任	講師	堀江 清二 (46) <平成31年4月> 学士(文学)
		みんなで教材を創ろう			みんなで教材を創ろう
兼任	講師	堀田 哲一郎 (61) <令和2年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	堀田 哲一郎 (61) <令和2年4月> 修士(教育学)※
		特別支援教育概論			特別支援教育概論
兼任	講師	松浦 久幸 (49) <平成31年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	松浦 久幸 (49) <平成31年4月> 学士(経済学)
		戦略MG(マネジメントゲーム)			戦略MG(マネジメントゲーム)
兼任	講師	三木 鳥彦 (60) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	三木 鳥彦 (60) <平成31年4月> 文学修士
		フランス語 I フランス語 II			フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	宮本 英征 (46) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	
		世界の歴史 I 世界の歴史 II			
兼任	講師	矢野 宗宏 (62) <平成31年4月> 法学士	兼任	講師	矢野 宗宏 (62) <平成31年4月> 法学士
		「笑い」のパワー・生きる力			「笑い」のパワー・生きる力
兼任	講師	山崎 初枝 (64) <平成31年4月> 修士(人間文化学)	兼任	講師	山崎 初枝 (64) <平成31年4月> 修士(人間文化学)
		健康科学			健康科学
兼任	講師	山田 浩之 (57) <令和3年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	山田 浩之 (57) <令和3年4月> 博士(教育学)
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法			特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	山中 康子 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	山中 康子 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語 A ※ 日本語(基礎A) 日本語(基礎E) 日本語(発展B) ビジネス日本語C			日本語 A ※ 日本語(基礎A) 日本語(基礎E) 日本語(発展B) ビジネス日本語C
兼任	講師	Yoshioka Connie (43) <平成31年4月> Master of Arts (TESOL) (イギリス)	兼任	講師	
		英語表現・標準 I 英語表現・標準 II 基礎英会話 I 基礎英会話 II			
兼任	講師	吉村 千里 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	吉村 千里 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※
		必修英語 B I 必修英語 B II			必修英語 B I 必修英語 B II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	羅 穎 (53) <平成31年4月> 修士(学術)	兼任	講師	羅 穎 (53) <平成31年4月> 修士(学術)
		中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の歳年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ クラスの再編を理由として、高岡義幸教授（専）の担当科目から「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」を削除
- ・ クラスの再編を理由として、山村 耕一郎教授（専）の担当科目から「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」を削除
- ・ 教育内容充実を理由として、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」のクラスを再編し、岡本恵子教授（兼担）の担当科目に追加
- ・ 三山緑准教授（兼担）の就任辞退にともない、「教職入門」科目の担当者再編のため、田中泉教授（兼担）の担当科目から削除
- ・ 三山緑准教授（兼担）の就任辞退にともない、「教職入門」科目担当を胤森裕暢教授（兼担）に変更
- ・ 教育内容充実のため、寺本 康俊教授（兼担）を採用
- ・ 永田靖教授（兼担）就任辞退
- ・ 永田靖教授（兼担）の就任辞退により、「インターンシップⅠ（国内）」科目担当を林和夫教授（兼担）に変更
- ・ 永田靖教授（兼担）の就任辞退により、「経営実践」科目担当を藤原久嗣准教授（兼担）に変更
- ・ 広田望志教授（兼担）令和元年度海外留学
- ・ 広田望志教授（兼担）の海外留学により、「ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう」科目担当を栗原理講師（兼任）に変更（令和元年のみ）
- ・ 山内昌斗教授（兼担）の就任辞退により、「わが人生の転機Ⅱ（同窓生編）」科目担当を餅川正雄教授（兼担）に変更
- ・ 山内昌斗教授（兼担）就任辞退
- ・ 山本公平教授（兼担）就任辞退
- ・ 山本公平教授（兼担）の就任辞退により、「[[笑]]のパワー・生きる力」科目担当を山本公平講師（兼任）に変更
- ・ 平成31年4月木本 一成（兼担）の職位を准教授から教授に昇格
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、重野(白田) 裕美准教授（兼担）の担当科目に「日本語文章表現」を追加
- ・ 三山緑准教授（兼担）就任辞退
- ・ 三山緑准教授（兼担）の就任辞退により、「教育制度論」科目担当を岡本徹講師（兼任）に変更
- ・ 三山緑准教授（兼担）の就任辞退により、「教育原理」科目担当を宮崎康子講師（兼任）に変更
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、後任として合田優子講師（兼担）を採用。
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、Forrest, Richard Andrew講師（兼担）の担当科目に「英語表現・標準Ⅰ・Ⅱ」を追加
- ・ 平成31年4月平下義記（兼担）の職位を助教から准教授に昇格
- ・ 平成31年4月森瑞樹（兼担）の職位を助教から准教授に昇格
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、David Williams講師（兼任）の担当科目に「基礎英会話Ⅰ・Ⅱ」を追加
- ・ 教育内容充実のため、荻野覚講師（兼任）を採用
- ・ 熊尾紗耶講師（兼任）就任辞退
- ・ 熊尾 紗耶講師（兼任）の就任辞退により、後任として坂水貴司講師（兼任）を採用。
- ・ 周瑾講師（兼任）就任辞退
- ・ 先坊幸子講師（兼任）就任辞退
- ・ 宮本英征講師（兼任）就任辞退
- ・ Yoshioka Connie講師（兼任）就任辞退

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **既で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
4	2	0	2	8	4	2	0	2	8
(4)	(2)	(0)	(2)	(8)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
4	2	0	2	8	4	2	0	2	8
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	2 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{8} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<メディアビジネス学部 ビジネス情報学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教育・学習支援委員会を設置(平成18年)</p> <p>委員会の事務組織として教育・学習支援センターを設置(平成18年)</p> <p>(※関係規程は添付資料①のとおり)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>8月・12月・3月を除いて月1回開催を定例としている。</p> <p>必要に応じて、学長が出席。各学科・部会等から教員9名、関係事務部門長等5名により構成。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会の実施について ・授業アンケート、学修アンケート等各種アンケートの実施について ・授業公開について <p>その他、入学前教育・初年次教育・学習サポートコーナーの運用など学習支援に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート、学習アンケート、卒業生アンケートの実施 ・授業公開(教員相互の授業参観)の実施 ・FD研修会、授業研究会の実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートは年2回前後期末、学修アンケートは年1回11月、卒業生アンケートは年1回卒業時に、実施要項を委員会に諮り、承認を得た上で、教授会にて報告、実施している。授業アンケート、学修アンケートは学内ポータルサイトを利用してWebにて実施している。全てのアンケートについて、集計、取り纏め後、フィードバックを行っている。 ・授業公開(教員相互の授業参観)は前期、後期それぞれ約6週間の授業公開期間を設け教員相互の授業参観を実施。参観者は、参観後参観した授業に対するコメントの返信やアドバイスなど授業改善に努めている。全教員が原則、全ての授業を公開としている。 ・FD研修会、授業研究会の実施 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善研修FD「卒業論文指導」 ・授業改善研修FD「明徳館の活用法」 ・授業改善研修FD「成績評価について」 ・報告SD「大学生基礎力レポート結果報告」 ・学生対応研修SD「学生対応を考える」 ・授業改善研修FD「授業公開・参観と授業改善研究会」 ・学生と教員による授業研究会FD「授業評価報告と学生FDプロジェクトと参加教員との意見交換」 ・授業改善研修FD「シラバスの書き方と授業運営」～効果的なシラバス～ ・授業改善研修FD「アクティブ・ラーニングの推進」④～アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の評価基準(ルーブリック)について～ ・授業改善研修FD「ICTの活用法」③～校内教学システムの利用と授業改善～
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

I Rデータを活用しての研修会、授業参観を利用しての授業研究会、テーマごとに設定された研修会など各種研修会を通して、工夫された授業方法を共有できること、ディスカッション、ワークショップなどを通して教員相互で研鑽を行うことによって、よりよい授業改善へとつなげていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無：有

実施時期：前期、後期それぞれの学期末に、開講されているすべての科目について、学生による授業アンケートをWebにより実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート実施後は集計結果を各教員へ返却、教員は今後の授業改善に役立てるとともに、アンケート結果に対する感想・意見、今後の取組についてのコメントを提出し学生へフィードバックを行う。なお、集計結果については、ホームページ並びに冊子にして学内で公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ビジネス情報学科では、ビジネスにおける情報の活用に関する教育研究を行い、専門的知識の習得を目指すと共に、論理的な思考力及び情報リテラシーを活かして、高度情報化社会に対応できる実践的な人材を養成する。また、教育においては、ビジネスにおける情報の活用を可能にする専門的知識、高度情報化社会に対応できる論理的な思考力とデータ分析力及び問題解決力を身につけさせる。そして、情報システムや情報教育に関連する企業に加えて、金融・保険・製造・小売り等の一般企業や公務員など幅広い分野で活躍できる人材の養成を目的としている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和元年7月1日頃に公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、本学図書館で閲覧可能とする。

・大学ホームページ上に公開予定(令和元年7月1日頃)

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関(財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年 7月1日）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人石田学園

(2) 大学名

広島経済大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒731-0192

広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシダ ツネオ) 石田 恒夫 (現職就任平成11年9月)		
学長	(オダニ ユキオ) 小谷 幸生 (現職就任平成29年4月)		
学部長	(キタノ ヒサト) 北野 尚人 (現職就任平成31年4月)		
学科長等	(キタノ ヒサト) 北野 尚人 (現職就任平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
行イ7ビジ初学部 行イ7ビジ初学科 学士（経営学）	経済学関係	4年	60人	- 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60 (-) [-]		() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.11倍	-	
志願者数	310 (-) [6]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	309 (-) [6]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	164 (-) [5]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	67 (-) [5]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.11												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	67 [5] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	67 [5] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	67 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{67} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<メディアビジネス学部 メディアビジネス学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目 (全学部学科共通)	必修英語A I	1前	1									6
	必修英語A II	1後	1									6
	必修英語B I	1前	1									11
	必修英語B II	1後	1									11
	必修英語C I	1通	1									2
	必修英語C II	2通	1									1
	英語理解・基礎徹底 I	2前		1								2
	英語理解・基礎徹底 II	2後		1								2
	英語理解・標準 I	2前		1								2
	英語理解・標準 II	2後		1								2
	英語理解・発展 I	2前		1								2
	英語理解・発展 II	2後		1								2
	英語表現・基礎徹底 I	2前		1								2
	英語表現・基礎徹底 II	2後		1								2
	英語表現・標準 I	2前		1								2
	英語表現・標準 II	2後		1								2
	英語表現・発展 I	2前		1								1
	英語表現・発展 II	2後		1								1
	海外研修英語 I	1前		1								1
	海外研修英語 II	1後		1								1
	ビジネス英語 I	1前		1								1
	ビジネス英語 II	1後		1								1
	基礎英会話 I	1前		1								1
	基礎英会話 II	1後		1								1
	発展英会話 I	1前		1								1
	発展英会話 II	1後		1								1
	資格英語 I	1前		1								2
	資格英語 II	1後		1								2
	資格英語 III	1前		1								1
	資格英語 IV	1後		1								1
	Academic Writing in English	2休		1								1
	フランス語 I	1前		1								1
	フランス語 II	1後		1								1
	ドイツ語 I	1前		1								1
	ドイツ語 II	1後		1								1
	スペイン語 I	1前		1								1
	スペイン語 II	1後		1								1
	中国語 I	1前		1								1
	中国語 II	1後		1								1
	韓国語 I	1前		1								1
	韓国語 II	1後		1								1
	インドネシア語 I	1前		1								1
	インドネシア語 II	1後		1								1
小計(43科目)	-		6	37	0							29
日本語文章科目	日本語文章表現	1前・後	2									5
	文章検演習	4前・後			2							2
	ビジネス日本語演習	1前・後		2								3
	日本語演習・標準	1前・後		2								1
	文章表現演習・標準	1前・後		2								4
	日本語演習・発展	2前		2								1
	文章表現演習・発展	2前・後		2								1
小計(7科目)	-		2	10	2							7
自己理解系科目	日本の歴史 I	1前		2								1
	日本の歴史 II	1前		2								1
	日本の歴史 III	1後		2								1
	広島 of 歴史と文化	1後		2								2
	日本の思想と文化	1前		2								1
	日本の宗教	1後		2								1
	日本の地理	1前・後		2								1
	日本の法律	1後		2								1
	日本の政治	1前・後		2								1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目 (全学部学科共通)	必修英語A I	1前	1									6
	必修英語A II	1後	1									6
	必修英語B I	1前	1									11
	必修英語B II	1後	1									11
	必修英語C I	1通	1									2
	必修英語C II	2通	1									1
	英語理解・基礎徹底 I	2前		1								2
	英語理解・基礎徹底 II	2後		1								2
	英語理解・標準 I	2前		1								2
	英語理解・標準 II	2後		1								2
	英語理解・発展 I	2前		1								2
	英語理解・発展 II	2後		1								2
	英語表現・基礎徹底 I	2前		1								2
	英語表現・基礎徹底 II	2後		1								2
	英語表現・標準 I	2前		1								2
	英語表現・標準 II	2後		1								2
	英語表現・発展 I	2前		1								1
	英語表現・発展 II	2後		1								1
	海外研修英語 I	1前		1								1
	海外研修英語 II	1後		1								1
	ビジネス英語 I	1前		1								1
	ビジネス英語 II	1後		1								1
	基礎英会話 I	1前		1								1
	基礎英会話 II	1後		1								1
	発展英会話 I	1前		1								1
	発展英会話 II	1後		1								1
	資格英語 I	1前		1								2
	資格英語 II	1後		1								2
	資格英語 III	1前		1								1
	資格英語 IV	1後		1								1
	Academic Writing in English	2休		1								1
	フランス語 I	1前		1								1
	フランス語 II	1後		1								1
	ドイツ語 I	1前		1								1
	ドイツ語 II	1後		1								1
	スペイン語 I	1前		1								1
	スペイン語 II	1後		1								1
	中国語 I	1前		1								1
	中国語 II	1後		1								1
	韓国語 I	1前		1								1
	韓国語 II	1後		1								1
	インドネシア語 I	1前		1								1
	インドネシア語 II	1後		1								1
小計(43科目)	-		6	37	0							28
日本語文章科目	日本語文章表現	1前・後	2									5
	文章検演習	4前・後			2							2
	ビジネス日本語演習	1前・後		2								3
	日本語演習・標準	1前・後		2								1
	文章表現演習・標準	1前・後		2								3
	日本語演習・発展	2前		2								1
	文章表現演習・発展	2前・後		2								1
小計(7科目)	-		2	10	2							7
自己理解系科目	日本の歴史 I	1前		2								1
	日本の歴史 II	1前		2								1
	日本の歴史 III	1後		2								1
	広島 of 歴史と文化	1後		2								2
	日本の思想と文化	1前		2								1
	日本の宗教	1後		2								1
	日本の地理	1前・後		2								1
	日本の法律	1後		2								1
	日本の政治	1前・後		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
メディア・応用・IT ビジネス 学 科 目 (経済学 関 係 分 野 科 目)	メディア・リテラシー	2前	2				1					
	メディアと法	2前	2			1						
	現代マスメディア論	2前	2			1						
	コミュニケーションと文化	2後	2								1	
	情報デザイン論	2前	2				1					
	情報社会と情報倫理	3前	2									1
	マルチメディア論	3前	2				1					
	イベント論	2前	2									1
	スポーツジャーナリズム論	3前	2									1
	スポーツメディア論	3後	2									1
	Webコンテンツ制作	2前	2				1					
	モバイルコンテンツ制作	2前・後	2				1					
	CG演習	2後	2				1					
	デザイン制作応用	2前	2				1					
	ラジオ番組制作	2後	2									1
	映像制作応用	2前	2				1					
CM制作	2後	2				1						
小計(32科目)	-	0	64	0	4	3					8	
メディアビジネス学科科目 (経済学関係分野科目)計	-	12	102	0								
合計(235科目)	-	36	401 又は 402	2	4	4					123	
卒業要件及び履修方法												
【卒業要件】 以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選択科目88単位以上〔選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上〕)を修得すること。 (科目区分) ①共通科目 1)必修科目8単位 2)選択必修科目14単位以上 3)選択科目8単位以上 ②ゼミ科目 1)必修科目16単位 ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目 (能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得した単位数) 1)選択科目24単位以上 ④メディアビジネス学科科目(経済学関係分野科目) 1)必修科目12単位 2)選択科目42単位以上 【履修方法】 履修科目の登録の上限:1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年次生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
メディア・応用・IT ビジネス 学 科 目 (経済学 関 係 分 野 科 目)	メディア・リテラシー	2前	2				1					
	メディアと法	2前	2			1						
	現代マスメディア論	2前	2			1						
	現代マスメディア事情	2前	2			1						
	コミュニケーションと文化	2後	2								1	
	情報デザイン論	2前	2				1					
	メディアと感性デザイン	2後	2									1
	情報社会と情報倫理	3前	2									1
	マルチメディア論	3前	2				1					
	イベント論	2前	2									1
	スポーツジャーナリズム論	3前	2									1
	スポーツメディア論	3後	2									1
	Webコンテンツ制作	2前	2				1					
	モバイルコンテンツ制作	2前・後	2				1					
	CG演習	2後	2				1					
	デザイン制作応用	2前	2				1					
ラジオ番組制作	2後	2									1	
映像制作応用	2前	2				1						
CM制作	2後	2				1						
小計(35科目)	-	0	70	0	4	3					9	
メディアビジネス学科科目 (経済学関係分野科目)計	-	12	108	0								
合計(241科目)	-	36	413 又は 414	2	4	3					127	
卒業要件及び履修方法												
【卒業要件】 以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選択科目88単位以上〔選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上〕)を修得すること。 (科目区分) ①共通科目 1)必修科目8単位 2)選択必修科目14単位以上 3)選択科目8単位以上 ②ゼミ科目 1)必修科目16単位 ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目 (能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得した単位数) 1)選択科目24単位以上 ④メディアビジネス学科科目(経済学関係分野科目) 1)必修科目12単位 2)選択科目42単位以上 【履修方法】 履修科目の登録の上限:1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年次生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 担当者就任辞退及びクラス再編の理由により、外国語科目の教員の配置小計を「兼任・兼任29」から「兼任・兼任28」へ変更
- ・ 「文章表現演習・標準」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更
- ・ 教育内容充実の理由により、授業科目「日本外交史」「国際関係史」「International Economics」「メディアビジネス特講J」「現代マスメディア事情」「メディアと感性デザイン」を新規に追加
- ・ 「世界の歴史Ⅰ・Ⅱ」担当者就任辞退の理由により教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更
- ・ 担当教員の本務校業務により、「環境法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・ 「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」「プレゼミ」「演習Ⅰ・Ⅱ」科目担当科目就任辞退の理由により、教員の配置を「准教授4」から「准教授3」へ変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「不動産実務法務Ⅰ」の配当年次を「1後」から「1休」に変更
- ・ 「経済入門」科目担当科目就任辞退の理由により、教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」へ変更
- ・ 「メディアと経済」科目担当科目就任辞退の理由により、教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」へ変更
- ・ 担当教員の本務校業務により、「メディアと経済」の配当年次を「2前」から「2休」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	216 科目	1 科目	235 科目	18 科目	222 科目	1 科目	241 科目	
				[]	[6]	[]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{235} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	91,279.12㎡	0㎡	0㎡	91,279.12㎡				
	運 動 場 用 地	120,117.63㎡	0㎡	0㎡	120,117.63㎡				
	小 計	211,396.75㎡	0㎡	0㎡	211,396.75㎡				
	そ の 他	1,645.68㎡	0㎡	0㎡	1,645.68㎡				
	合 計	213,042.43㎡	0㎡	0㎡	213,042.43㎡				
(2) 校 舎	専 用	55,478.94㎡	0㎡	0㎡	55,478.94㎡				
	(55,478.94㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(55,478.94㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体			
	25室	64室	25室	0室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年3月31日付でメ ディアビジネス学科専任 教員1名が退職したため (元)			
	メディアビジネス学部		16 -17 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定が不 能なため、大学全体の 数 電子ジャーナル：抄録 や書誌情報のみのもの は除外したため(元) 視聴覚資料：除籍のた め(元)	
	メディアビジ ネス学部	507,810 [133,108] (483,210 [128,932]) (478,810 [127,424])	4,969 [1,314] (5,099 [1,300]) (4,909 [1,294])	7,050 [6,960] (2,545 [2,462]) (6,407 [6,327])	6,120 (5,428) (5,960)	0 (0)	0 (0)		
	計	507,810 [133,108] (483,210 [128,932]) (478,810 [127,424])	4,969 [1,314] (5,099 [1,300]) (4,909 [1,294])	7,050 [6,960] (2,545 [2,462]) (6,407 [6,327])	6,120 (5,428) (5,960)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	8,685.28㎡		441席		477,750冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	9,906.56㎡		総合グラウンド・フットボールパーク 野球場・テニスコート						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	1,777千円	4,000千円	4,000千円	
	共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	50,000千円	8,200千円	8,200千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		880千円	880千円	880千円	880千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島経済大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
経済学部										
経済学科	4	330	若干	1,320	学士 (経済学)	0.95		昭和42年度	広島県広島市安佐南区祇園 五丁目37番1号	
経営学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		昭和49年度	同上	※平成31年4月学 生募集停止
ビジネス情報学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成14年度	同上	※平成31年4月学 生募集停止
メディアビジネス学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成16年度	同上	※平成31年4月学 生募集停止
スポーツ経営学科	4	-	-	-	学士 (スポーツ経 営学)	-		平成23年度	同上	※平成31年4月学 生募集停止
経営学部										
経営学科	4	310	若干	310	学士 (経営学)	1.00		平成31年度	広島県広島市安佐南区祇園 五丁目37番1号	
スポーツ経営学科	4	70	-	70	学士 (スポーツ経 営学)	0.82		平成31年度	同上	
メディアビジネス学部										
ビジネス情報学科	4	80	若干	80	学士 (経営学)	0.90		平成31年度	広島県広島市安佐南区祇園 五丁目37番1号	
メディアビジネス学科	4	60	若干	60	学士 (経営学)	1.11		平成31年度	同上	
大学全体	4	850	若干	1,840	-	-		-	-	
大学院経済学研究科 経済学専攻										
博士課程後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.22		平成2年度		
博士課程前期課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.95		昭和54年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<メディアビジネス学部 メディアビジネス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (学部 長兼学 科主任)	北野 尚人 (62) <平成31年4月> 経済学士	専	教授 (学部 長兼学 科主任)	北野 尚人 (62) <平成31年4月> 経済学士
		大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ コピーライティング実践講座 メディアビジネス入門 広告論 メディアビジネス特講H CM制作			大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ コピーライティング実践講座 メディアビジネス入門 広告論 メディアビジネス特講H 現在マスメディア事情 CM制作
専	教授	徳永 博克 (69(高)) <平成31年4月> 文学士	専	教授	徳永 博克 (69(高)) <平成31年4月> 文学士
		大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 映像メディア論 映像制作基礎B 現代マスメディア論 映像制作応用			大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 映像メディア論 映像制作基礎B 現代マスメディア論 現在マスメディア事情 映像制作応用
専	教授	仙田 信吾 (66) <令和3年9月> 法学士	専	教授	仙田 信吾 (66) <令和3年9月> 法学士
		大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 映像メディア論 映像制作基礎B メディアビジネス特講D 現代マスメディア論 映像制作応用			大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 映像メディア論 映像制作基礎B メディアビジネス特講D 現代マスメディア論 映像制作応用
専	教授	中村 克洋 (68(高)) <平成31年4月> 教育学士	専	教授	中村 克洋 (68(高)) <平成31年4月> 教育学士
		大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 音声メディア論 コミュニケーションと文化			大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 音声メディア論 コミュニケーションと文化
専	教授	濱 慎一 (67(高)) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(7月)	専	教授	濱 慎一 (67(高)) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(7月)
		大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ コンテンツビジネス論Ⅰ コンテンツビジネス論Ⅱ メディアビジネス特講F マルチメディア論 Webコンテンツ制作 モバイルコンテンツ制作			大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ コンテンツビジネス論Ⅰ コンテンツビジネス論Ⅱ メディアビジネス特講F マルチメディア論 Webコンテンツ制作 モバイルコンテンツ制作
専	教授	松井 一洋 (69(高)) <平成31年4月> 法学士	専	教授	松井 一洋 (69(高)) <平成31年4月> 法学士
		大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ メディア・マーケティング論			大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ メディア・マーケティング論
専	教授	井上 英之 (61) <令和2年4月> 法学士	専	教授	井上 英之 (61) <令和2年4月> 法学士
		大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ メディア・マーケティング論 出版メディア論 企業広報論 メディアビジネス特講B メディアと法			大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ メディア・マーケティング論 出版メディア論 企業広報論 メディアビジネス特講B メディアと法
専	教授	宮田 庄梧 (65) <令和3年4月> Master of Business Administration(7月)	専	教授	宮田 庄梧 (65) <令和3年4月> Master of Business Administration(7月)
		大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ コンテンツビジネス論Ⅰ コンテンツビジネス論Ⅱ メディアビジネス特講Ⅰ メディアビジネス特講Ⅱ			大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ コンテンツビジネス論Ⅰ コンテンツビジネス論Ⅱ メディアビジネス特講Ⅰ メディアビジネス特講Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名	
専	准教授	貴名 貴洋 (46) <平成31年4月> 博士(経済学)			
		大学入門ゼミ 創始人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 経済入門 メディアと経済			
			兼担	助教	久根 大支 (53) <平成31年4月> 修士(経済学)※ 経済入門
			兼任	講師	貴名 貴洋 (47) <令和2年4月> 博士(経済学) メディアと経済
専	准教授	土屋 祐子 (46) <平成31年4月> 修士(学際情報学)	専	准教授	土屋 祐子 (46) <平成31年4月> 修士(学際情報学)
		大学入門ゼミ 創始人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 『私たちの広島』PR実践 メディア論 映像制作基礎A メディア・リテラシー			大学入門ゼミ 創始人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 『私たちの広島』PR実践 メディア論 映像制作基礎A メディア・リテラシー
専	准教授	堂本(村田) 絵理 (38) <平成31年4月> 博士(情報科学)	専	准教授	堂本(村田) 絵理 (38) <平成31年4月> 博士(情報科学)
		大学入門ゼミ 創始人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ Webメディア論 マルチメディア論 Webコンテンツ制作 モバイルコンテンツ制作 CG演習			大学入門ゼミ 創始人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ Webメディア論 マルチメディア論 Webコンテンツ制作 モバイルコンテンツ制作 CG演習
専	准教授	宮地 英和 (45) <平成31年4月> 博士(芸術)	専	准教授	宮地 英和 (45) <平成31年4月> 博士(芸術)
		大学入門ゼミ 創始人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ ユニバーサルデザイン実践 デザイン制作基礎 情報デザイン論 デザイン制作応用			大学入門ゼミ 創始人入門ゼミ プレゼミ 演習Ⅰ 演習Ⅱ ユニバーサルデザイン実践 デザイン制作基礎 情報デザイン論 デザイン制作応用
兼担	教授	新垣 繁秀 (55) <平成31年4月> 経済学修士※	兼担	教授	新垣 繁秀 (55) <平成31年4月> 経済学修士※
		人の行動を経済学で読み解く【隔年】 マクロ経済学基礎Ⅰ			人の行動を経済学で読み解く【隔年】 マクロ経済学基礎Ⅰ
兼担	教授	石川 明美 (63) <令和3年4月> 経済学修士※	兼担	教授	石川 明美 (63) <令和3年4月> 経済学修士※
		マーチャンダイジング論Ⅰ マーチャンダイジング論Ⅱ			マーチャンダイジング論Ⅰ マーチャンダイジング論Ⅱ
兼担	教授	小笠原 礼以 (51) <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼担	教授	小笠原 礼以 (51) <令和2年4月> 修士(経済学)※
		インターシップⅠ(国内) 国際経済基礎Ⅰ			インターシップⅠ(国内) 国際経済基礎Ⅰ
兼担	教授	岡田 斉 (66) <令和2年4月> 博士(経営学), 博士(工学)	兼担	教授	岡田 斉 (66) <令和2年4月> 博士(経営学), 博士(工学)
		インターシップⅠ(国内) 経営情報論			インターシップⅠ(国内) 経営情報論
兼担	教授	岡本 恵子 (64) <平成31年4月> 文学修士	兼担	教授	岡本 恵子 (64) <平成31年4月> 文学修士
		ビジネス日本語演習 文章表現演習・発展 日本文学A インターシップⅠ(国内) 文章創作実践			ビジネス日本語演習 文章表現演習・発展 日本文学A 大学入門ゼミ 創始人入門ゼミ インターシップⅠ(国内) 文章創作実践

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	岡本 貞雄 (66) <平成31年4月> 文学修士※	日本の思想と文化 日本の宗教 禅(ZEN)で元気なところとからだを つくろう	兼任	岡本 貞雄 (66) <平成31年4月> 文学修士※	日本の思想と文化 日本の宗教 禅(ZEN)で元気なところとからだを つくろう
兼任	小谷 幸生 (67) <平成31年4月> Master of Business Administration(7月)	わが人生の転機 I (教職員編)	兼任	小谷 幸生 (67) <平成31年4月> Master of Business Administration(7月)	わが人生の転機 I (教職員編)
兼任	神田 義浩 (60) <平成31年4月> 文学修士※	社会心理学 大学入門ゼミ 奨励館入門ゼミ	兼任	神田 義浩 (60) <平成31年4月> 文学修士※	社会心理学 大学入門ゼミ 奨励館入門ゼミ
兼任	宣名 眞 勇 (68) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(7月)	International Trade 現代日本経済事情 I 現代日本経済事情 II	兼任	宣名 眞 勇 (68) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(7月)	International Trade 現代日本経済事情 I 現代日本経済事情 II
兼任	高石 哲弥 (51) <平成31年4月> 博士(理学)	数学 A 数学 B 数学 C 自然科学 A 自然科学 B 社会科学 B 社会人基礎学力応用 インターンシップ I (国内)	兼任	高石 哲弥 (51) <平成31年4月> 博士(理学)	数学 A 数学 B 数学 C 自然科学 A 自然科学 B 大学入門ゼミ 大学院入門ゼミ 社会人基礎学力応用 インターンシップ I (国内)
兼任	田中 泉 (61) <平成31年4月> 文学修士※	広島の歴史と文化※ 世界の歴史 I 世界の歴史 II 世界の宗教※ 広島とハワイで学ぼう！めざせ国際人	兼任	田中 泉 (61) <平成31年4月> 文学修士※	広島の歴史と文化※ 世界の歴史 I 世界の歴史 II 世界の宗教※ 広島とハワイで学ぼう！めざせ国際人
兼任	田中 章司郎 (62) <平成31年4月> 博士(学術)	Environment and Business	兼任	田中 章司郎 (62) <平成31年4月> 博士(学術)	Environment and Business
兼任	田辺 洋子 (64) <平成31年4月> 博士(文学)	必修英語 A I 必修英語 A II 英語理解・標準 I 英語理解・標準 II	兼任	田辺 洋子 (64) <平成31年4月> 博士(文学)	必修英語 A I 必修英語 A II 英語理解・標準 I 英語理解・標準 II
			兼任	寺本 康利 (65) <平成31年4月> 博士(法学)	日本外交史 国際関係史
兼任	得津 康義 (46) <平成31年4月> 博士(経済学)	人の行動を経済学で読み解く【隔年】	兼任	得津 康義 (46) <平成31年4月> 博士(経済学)	人の行動を経済学で読み解く【隔年】
兼任	永田 靖 (52) <平成31年4月> 博士(マネジメント)	インターンシップ I (国内) 経営実践	兼任	藤原 久嗣 (52) <平成31年4月> 修士(経営学)	経営実践
兼任	鎌谷 英輝 (59) <令和2年4月> 法学士	資本市場の役割と証券投資	兼任	鎌谷 英輝 (59) <令和2年4月> 法学士	資本市場の役割と証券投資

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	野北 晴子 (56) <令和2年4月> 経済学修士※	国際経済基礎Ⅱ	兼任	野北 晴子 (56) <令和2年4月> 経済学修士※	国際経済基礎Ⅱ
兼任	長谷川 泰志 (60) <平成31年4月> 文学修士※	日本語文章表現 文章読解演習 ビジネス日本語演習 日本文学B 企画力養成講座	兼任	長谷川 泰志 (60) <平成31年4月> 文学修士※	日本語文章表現 文章読解演習 ビジネス日本語演習 日本文学B 企画力養成講座
兼任	濱田 敏彦 (57) <平成31年4月> 文学修士※	日本の歴史Ⅱ 広島県の歴史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう	兼任	濱田 敏彦 (57) <平成31年4月> 文学修士※	日本の歴史Ⅱ 広島県の歴史と文化※ 大卒入門ゼミ 奨励生入門ゼミ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう
兼任	林 和夫 (62) <令和2年4月> 修士(経営学)	イベント論	兼任	林 和夫 (62) <令和2年4月> 修士(経営学)	インターンシップⅠ(国内) イベント論
兼任	George R. Harada (59) <平成31年4月> 法学修士※	日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ 現代社会と人権 広い世界に飛び出そう Practical Management Theory for International StudentsⅠ Practical Management Theory for International StudentsⅡ Independent StudyⅠ Independent StudyⅡ Japanese Law and SocietyⅠ Japanese Law and SocietyⅡ Theory and Practice of Budo※ Study on International Issues and Challenges	兼任	George R. Harada (59) <平成31年4月> 法学修士※	日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ 現代社会と人権 広い世界に飛び出そう Practical Management Theory for International StudentsⅠ Practical Management Theory for International StudentsⅡ Independent StudyⅠ Independent StudyⅡ Japanese Law and SocietyⅠ Japanese Law and SocietyⅡ Theory and Practice of Budo※ Study on International Issues and Challenges
兼任	平岡 賢治 (68) <平成31年4月> 理学修士※	数学A 数学B 数学C 社会人基礎学力応用	兼任	平岡 賢治 (68) <平成31年4月> 理学修士※	数学A 数学B 数学C 社会人基礎学力応用
兼任	平本 賢了 (55) <平成31年4月> 修士(経済学)※	インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ インターンシップⅡ(海外) 国際経済基礎Ⅰ	兼任	平本 賢了 (55) <平成31年4月> 修士(経済学)※	インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ インターンシップⅡ(海外) 国際経済基礎Ⅰ
兼任	広田 堅志 (48) <平成31年4月> 博士(経済学)	ゲームを通じてグローバル社会を 理解しよう	兼任	広田 堅志 (48) <平成31年4月> ※令和元年海外留学 博士(経済学)	ゲームを通じてグローバル社会を理 解しよう
			兼任	栗原 理 (63) <平成31年4月> 博士(工学)	ゲームを通じてグローバル社会を 理解しよう
兼任	福居 信幸 (64) <令和2年4月> 経済学士	資本市場の役割と証券投資 国際経済基礎Ⅰ	兼任	福居 信幸 (64) <令和2年4月> 経済学士	資本市場の役割と証券投資 国際経済基礎Ⅰ
兼任	細井 謙一 (52) <令和2年4月> 修士(商学)※	流通システム論Ⅰ 流通システム論Ⅱ	兼任	細井 謙一 (52) <令和2年4月> 修士(商学)※	流通システム論Ⅰ 流通システム論Ⅱ
兼任	堀江 浩明 (48) <令和2年4月> 修士(経営学)※	インターンシップⅠ(国内)	兼任	堀江 浩明 (48) <令和2年4月> 修士(経営学)※	インターンシップⅠ(国内)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	堀江 真由美 (54) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	堀江 真由美 (54) <令和2年4月> 博士(経済学)
		ミクロ経済学基礎Ⅰ			ミクロ経済学基礎Ⅰ
兼任	教授	松本 耕二 (51) <平成31年4月> 修士(体育学)	兼任	教授	松本 耕二 (51) <平成31年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実習			スポーツ実習
兼任	教授	宮岡 弥生 (52) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	教授	宮岡 弥生 (52) <平成31年4月> 博士(学術)
		日本語(基礎B) 日本語(基礎F)			日本語(基礎B) 日本語(基礎F)
兼任	教授	宮畑 加奈子 (55) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	教授	宮畑 加奈子 (55) <平成31年4月> 博士(法学)
		日本の法律 インターンシップⅡ(海外)			日本の法律 インターンシップⅡ(海外)
兼任	教授	森田 裕司 (57) <平成31年4月> 文学修士	兼任	教授	森田 裕司 (57) <平成31年4月> 文学修士
		メンタルヘルス論			メンタルヘルス論
兼任	教授	柳川 和優 (60) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	教授	柳川 和優 (60) <平成31年4月> 博士(教育学)
		スポーツ科学 スポーツ実習 インターンシップⅠ(国内) わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)			スポーツ科学 スポーツ実習 インターンシップⅠ(国内) わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)
兼任	教授	山内 昌斗 (42) <平成31年4月> 博士(経営学)			
		わが人生の転機Ⅱ(同窓生編) 経営入門			
			兼任	教授	松川 雄洋 (59) <平成31年4月> 博士(経営学)
					経営入門
			兼任	教授	齋川 正雄 (62) <平成31年4月> 経済学士
					わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)
兼任	教授	山本 公平 (54) <平成31年4月> 修士(経済学)※			
		「笑い」のパワー・生きる力			
			兼任	講師	山本 公平 (54) <平成31年4月> 修士(経済学)※
					「笑い」のパワー・生きる力
兼任	教授	山本 貴裕 (52) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	教授	山本 貴裕 (52) <平成31年4月> 文学修士※
		必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 必修英語CⅡ Academic Writing in English 世界の思想と現代社会Ⅰ 広い世界に飛び出そう 広島とハワイで学ぼう！めざせ国際人 Japanese Religion and Culture			必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 必修英語CⅡ Academic Writing in English 世界の思想と現代社会Ⅰ 広い世界に飛び出そう 広島とハワイで学ぼう！めざせ国際人 Japanese Religion and Culture
兼任	教授	山本 雅昭 (55) <平成31年4月> Philosophy of Doctor(特'リ)	兼任	教授	山本 雅昭 (55) <平成31年4月> Philosophy of Doctor(特'リ)
		テクノロジーと社会・経済 情報とネットワーク社会 インターンシップⅠ(国内)			テクノロジーと社会・経済 情報とネットワーク社会 インターンシップⅠ(国内)
兼任	教授	橋 義申 (48) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	橋 義申 (48) <令和2年4月> 博士(経済学)
		インターンシップⅡ(海外) 国際経済基礎Ⅰ			インターンシップⅡ(海外) 国際経済基礎Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	渡辺 勇一 (68) <令和2年4月> 法学士	兼任	教授	渡辺 勇一 (68) <令和2年4月> 法学士
		インターンシップⅠ(国内) スポーツジャーナリズム論 スポーツメディア論			インターンシップⅠ(国内) スポーツジャーナリズム論 スポーツメディア論
兼任	講師	渡辺 勇一 (70) <令和4年4月> 法学士	兼任	講師	渡辺 勇一 (70) <令和4年4月> 法学士
		スポーツジャーナリズム論 スポーツメディア論			スポーツジャーナリズム論 スポーツメディア論
兼任	准教授	石田 優子 (45) <平成31年4月> 修士(経済学)※	兼任	准教授	石田 優子 (45) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		わが人生の転機Ⅰ(教職員編)			わが人生の転機Ⅰ(教職員編)
兼任	准教授	梶原 英二 (51) <平成31年4月> 修士(学術)※	兼任	准教授	梶原 英二 (51) <平成31年4月> 修士(学術)※
		必修英語AⅠ 必修英語AⅡ			必修英語AⅠ 必修英語AⅡ
兼任	准教授	木本 一成 (60) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	木本 一成 (60) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語文章表現 文章検定演習 日本語演習・標準 文章表現演習・標準 日本語演習・発展 女子学生のためのキャリア形成入門			日本語文章表現 文章検定演習 日本語演習・標準 文章表現演習・標準 日本語演習・発展 女子学生のためのキャリア形成入門
兼任	准教授	坂間 十和子 (32) <令和2年4月> 修士(商学)※	兼任	准教授	坂間 十和子 (32) <令和2年4月> 修士(商学)※
		マーケティング論基礎 マーケティング論 サービス・マーケティング論			マーケティング論基礎 マーケティング論 サービス・マーケティング論
兼任	准教授	迫田 奈美子 (44) <平成31年4月> Master of Arts(4年)	兼任	准教授	迫田 奈美子 (44) <平成31年4月> Master of Arts(4年)
		必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語理解・発展Ⅰ 英語理解・発展Ⅱ 女子学生のためのキャリア形成入門			必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語理解・発展Ⅰ 英語理解・発展Ⅱ 女子学生のためのキャリア形成入門
兼任	准教授	澤 滋久 (54) <平成31年4月> 修士(理学)※	兼任	准教授	澤 滋久 (54) <平成31年4月> 修士(理学)※
		世界の宗教※ インターンシップⅠ(国内)			世界の宗教※ インターンシップⅠ(国内)
兼任	准教授	重野(白田) 裕美 (35) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	重野(白田) 裕美 (35) <平成31年4月> 博士(学術)
		ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践			日本語文章表現 ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践
兼任	准教授	杉山 克典 (45) <令和2年4月> 修士(経済学)	兼任	准教授	杉山 克典 (45) <令和2年4月> 修士(経済学)
		情報ネットワーク論			情報ネットワーク論
兼任	准教授	竹林 栄治 (53) <平成31年4月> 経済学修士※	兼任	准教授	竹林 栄治 (53) <平成31年4月> 経済学修士※
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	准教授	Kenneth I. Tsuye (66) <平成31年4月> Doctor of Business Administration(79年)	兼任	准教授	Kenneth I. Tsuye (66) <平成31年4月> Doctor of Business Administration(79年)
		Independent StudyⅢ Independent StudyⅣ			Independent StudyⅢ Independent StudyⅣ
兼任	准教授	中村 隆行 (61) <平成31年4月> 法学修士※	兼任	准教授	中村 隆行 (61) <平成31年4月> 法学修士※
		身近なボランティア活動 NPO・NGOの立ち上げと活動 興助館プロジェクトの計画と実施 興助館プロジェクトの評価と改善 興助館プロジェクトの経営戦略			身近なボランティア活動 NPO・NGOの立ち上げと活動 興助館プロジェクトの計画と実施 興助館プロジェクトの評価と改善 興助館プロジェクトの経営戦略

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	本岡 亜沙子 (38) <平成31年4月> 博士(文学)	准教授 必修英語AⅠ 必修英語AⅡ 必修英語CⅠ 外国文学A※	兼任	本岡 亜沙子 (38) <平成31年4月> 博士(文学)
兼任	森山(丹羽) 玲子 (47) <平成31年4月> 修士(経済学)※	准教授 女子学生のためのキャリア形成入門	兼任	森山(丹羽) 玲子 (47) <平成31年4月> 修士(経済学)※
兼任	山根(大和田) 智沙子 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)	准教授 インターンシップⅠ(国内) 人の行動を経済学で読み解く【兩年】	兼任	山根(大和田) 智沙子 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)
兼任	John. A. S. Wild (54) <平成31年4月> Master of Social Science(7/7)	准教授 必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語表現・発展Ⅰ 英語表現・発展Ⅱ 海外研修英語Ⅰ 海外研修英語Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ	兼任	John. A. S. Wild (54) <平成31年4月> Master of Social Science(7/7)
兼任	渡辺 泰弘 (39) <平成31年4月> 博士(スポーツ健康科学)	准教授 スポーツ実習	兼任	渡辺 泰弘 (39) <平成31年4月> 博士(スポーツ健康科学)
			兼任	合田 優子 (30) <平成31年4月> 修士(学術)※ 必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 資格英語Ⅲ 資格英語Ⅳ
兼任	藤田 香織 (40) <平成31年4月> 学士(人文学)	講師 必修英語AⅠ 必修英語AⅡ 必修英語CⅠ	兼任	藤田 香織 (40) <平成31年4月> 学士(人文学)
兼任	Forrest, Richard Andrew (55) <平成31年4月> Master of Public Policy※(7/7)	講師 必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語表現・基礎徹底Ⅰ 英語表現・基礎徹底Ⅱ Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment	兼任	Forrest, Richard Andrew (55) <平成31年4月> Master of Public Policy※(7/7)
兼任	森谷 浩士 (47) <平成31年4月> 修士(文学)	講師 必修英語AⅠ 必修英語AⅡ	兼任	森谷 浩士 (47) <平成31年4月> 修士(文学)
兼任	Mark J. Tankosich (60) <平成31年4月> Master of Arts(7/7)	助教 必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 発展英会話Ⅰ 発展英会話Ⅱ Theory and Practice of Budo※	兼任	Mark J. Tankosich (60) <平成31年4月> Master of Arts(7/7)
兼任	平下 義記 (33) <平成31年4月> 博士(文学)	助教 日本の歴史Ⅰ	兼任	平下 義記 (33) <平成31年4月> 博士(文学)
兼任	藤山 和久 (36) <平成31年4月> 修士(英米言語文化)※	助教 必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 外国文学A※	兼任	藤山 和久 (36) <平成31年4月> 修士(英米言語文化)※
兼任	森 瑞樹 (38) <平成31年4月> 博士(言語文化学)	助教 英語理解・発展Ⅰ 英語理解・発展Ⅱ 資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ 外国文学A※	兼任	森 瑞樹 (38) <平成31年4月> 博士(言語文化学)

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	青木 利夫 (54) <平成31年4月> 博士(社会学)	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ	兼任	青木 利夫 (54) <平成31年4月> 博士(社会学)	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	阿部 純 (37) <令和2年4月> 修士(学際情報)※	コミュニケーション論 コミュニケーションと文化	兼任	阿部 純 (37) <令和2年4月> 修士(学際情報)※	コミュニケーション論 コミュニケーションと文化
兼任	安部 貴彦 (58) <平成31年4月> 准学士	禅(ZEN)で元気なところからたを つくろう	兼任	安部 貴彦 (58) <平成31年4月> 准学士	禅(ZEN)で元気なところからたを つくろう
兼任	池松 由紀 (44) <令和2年4月> 准学士	キャリアスキルズⅠ	兼任	池松 由紀 (44) <令和2年4月> 准学士	キャリアスキルズⅠ
兼任	石田 知美 (45) <令和2年4月> 学士(文学)	資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ	兼任	石田 知美 (45) <令和2年4月> 学士(文学)	資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ
兼任	伊豆田 功 (52) <平成31年4月> 経済学士	ビジネス・シミュレーション・ ゲーム	兼任	伊豆田 功 (52) <平成31年4月> 経済学士	ビジネス・シミュレーション・ ゲーム
兼任	岩園 智子 (45) <平成31年4月> 修士(文学)	必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語表現・基礎徹底Ⅰ 英語表現・基礎徹底Ⅱ	兼任	岩園 智子 (45) <平成31年4月> 修士(文学)	必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語表現・基礎徹底Ⅰ 英語表現・基礎徹底Ⅱ
兼任	David Williams (45) <平成31年4月> Bachelor of Arts・Bachelor of Science(加付)	必修英語BⅠ 必修英語BⅡ	兼任	David Williams (45) <平成31年4月> Bachelor of Arts・Bachelor of Science(加付)	必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 基礎実務Ⅰ 基礎実務Ⅱ
兼任	大多 正人 (56) <令和2年4月> 文学士	キャリアスキルズⅡ	兼任	大多 正人 (56) <令和2年4月> 文学士	キャリアスキルズⅡ
兼任	岡田 高嘉 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)	世界の憲法	兼任	岡田 高嘉 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)	世界の憲法
			兼任	萩野 寛 (53) <平成31年4月> 修士(経営学)	International Economics
兼任	落谷 淑江 (50) <平成31年4月> 文学士	情報処理入門Ⅰ 情報処理入門Ⅱ	兼任	落谷 淑江 (50) <平成31年4月> 文学士	情報処理入門Ⅰ 情報処理入門Ⅱ
兼任	梶川 正 (67) <令和3年4月> 商学修士	情報社会と情報倫理	兼任	梶川 正 (67) <令和3年4月> 商学修士	情報社会と情報倫理
兼任	栢木 士郎 (47) <平成31年4月> 修士(経済学)※	社会人基礎学力基礎	兼任	栢木 士郎 (47) <平成31年4月> 修士(経済学)※	社会人基礎学力基礎
兼任	金原 光広 (56) <平成31年4月> 社会科学士	ビジネス・シミュレーション・ ゲーム	兼任	金原 光広 (56) <平成31年4月> 社会科学士	ビジネス・シミュレーション・ ゲーム
兼任	家村(宮岸) 伸子 (50) <平成31年4月> 博士(教育学)	日本語(基礎C) 日本語(基礎D) 日本語(発展A) ビジネス日本語A	兼任	家村(宮岸) 伸子 (50) <平成31年4月> 博士(教育学)	日本語(基礎C) 日本語(基礎D) 日本語(発展A) ビジネス日本語A

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	河川 忠史 (57) <平成31年4月> 工学士	不動産実務法務Ⅰ 不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ	河川 忠史 (57) <平成31年4月> 工学士	不動産実務法務Ⅰ 不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ
兼任	河野 弥生 (53) <平成31年4月> 修士(学術)※	日本の政治	河野 弥生 (53) <平成31年4月> 修士(学術)※	日本の政治
兼任	金 雄勇 (45) <平成31年4月> 博士(教育学)	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	金 雄勇 (45) <平成31年4月> 博士(教育学)	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
兼任	木村 亮平 (39) <平成31年4月> 学士(経済学)	プロスポーツによる広島活性化講座	木村 亮平 (39) <平成31年4月> 学士(経済学)	プロスポーツによる広島活性化講座
兼任	久保田 浩二 (62) <平成31年4月> 工学士	ビジネス・シミュレーション・ゲーム	久保田 浩二 (62) <平成31年4月> 工学士	ビジネス・シミュレーション・ゲーム
兼任	倉橋 孝博 (48) <平成31年4月> 学士(教育学)	ライフプラン(人生設計)でやる気づくり	倉橋 孝博 (48) <平成31年4月> 学士(教育学)	ライフプラン(人生設計)でやる気づくり
兼任	坂本 小百合 (51) <平成31年4月> 教育学士	情報処理入門Ⅰ 情報処理入門Ⅱ	坂本 小百合 (51) <平成31年4月> 教育学士	情報処理入門Ⅰ 情報処理入門Ⅱ
兼任	坂本 聖子 (59) <平成31年4月> 修士(文学)※	必修英語BⅠ 必修英語BⅡ	坂本 聖子 (59) <平成31年4月> 修士(文学)※	必修英語BⅠ 必修英語BⅡ
兼任	坂本 はるえ (45) <平成31年4月> 修士(文学)	日本語B※ 日本語(発展C) ビジネス日本語B	坂本 はるえ (45) <平成31年4月> 修士(文学)	日本語文章表現 日本語B※ 日本語(発展C) ビジネス日本語B
兼任	佐藤 道雄 (55) <平成31年4月> 文学修士	日本語A※ 日本語B※	佐藤 道雄 (55) <平成31年4月> 文学修士	日本語A※ 日本語B※
兼任	志賀 誠治 (63) <平成31年4月> 教育学士	興動館プロジェクトとコミュニケーション	志賀 誠治 (63) <平成31年4月> 教育学士	興動館プロジェクトとコミュニケーション
兼任	周 麗 (29) <平成31年4月> 修士(文学)	資格英語Ⅲ 資格英語Ⅳ		
兼任	先坊 幸子 (44) <平成31年4月> 博士(文学)	日本語文章表現 文章表現演習・標準		
			兼任	講師 渡橋 森子 (26) <平成31年4月> 修士(文学)
				日本語文章表現
兼任	Frank Thornton (58) <平成31年4月> Bachelor of Behavioral Science (7月功)	スポーツで学ぶ共生力	Frank Thornton (58) <平成31年4月> Bachelor of Behavioral Science (7月功)	スポーツで学ぶ共生力
兼任	竹本 伸 (64) <平成31年4月> 文学士	日本の地理 世界の地理Ⅰ 世界の地理Ⅱ	竹本 伸 (64) <平成31年4月> 文学士	日本の地理 世界の地理Ⅰ 世界の地理Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	竹本 真希子 (47) <平成31年4月> Dr. rer. pol.(Doctor rerum politicarum)(トイ)	兼任	講師	竹本 真希子 (47) <平成31年4月> Dr. rer. pol.(Doctor rerum politicarum)(トイ)
		世界の思想と現代社会Ⅱ			世界の思想と現代社会Ⅱ
兼任	講師	田中 健 (54) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	田中 健 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命倫理			生命倫理
兼任	講師	棚橋 久美子 (61) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	講師	棚橋 久美子 (61) <平成31年4月> 文学修士※
		日本の歴史Ⅲ			日本の歴史Ⅲ
兼任	講師	土山 ゆかり (52) <平成31年4月> 経済学士	兼任	講師	土山 ゆかり (52) <平成31年4月> 経済学士
		情報処理入門Ⅰ 情報処理入門Ⅱ IT戦略とマネージメント 情報化技術			情報処理入門Ⅰ 情報処理入門Ⅱ IT戦略とマネージメント 情報化技術
兼任	講師	常山 慶三 (55) <令和2年4月> 経済学士	兼任	講師	常山 慶三 (55) <令和2年4月> 経済学士
		資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ			資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ
兼任	講師	土居 智典 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	土居 智典 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		世界の思想と現代社会Ⅲ			世界の思想と現代社会Ⅲ
兼任	講師	豊島 桂子 (64) <令和2年4月> Master of Arts (7月別)	兼任	講師	豊島 桂子 (64) <令和2年4月> Master of Arts (7月別)
		英語理解・基礎徹底Ⅰ 英語理解・基礎徹底Ⅱ			英語理解・基礎徹底Ⅰ 英語理解・基礎徹底Ⅱ
兼任	講師	中井 佳絵 (46) <平成31年4月> 修士(政策学)	兼任	講師	中井 佳絵 (46) <平成31年4月> 修士(政策学)
		音声メディア論 ラジオ番組制作			音声メディア論 ラジオ番組制作
兼任	講師	中野 登志美 (47) <平成31年4月> 博士(教育学)			
		日本語文章表現			
			兼任	講師	坂水 貴司 (26) <平成31年4月> 博士(学術)
					日本語文章表現
兼任	講師	仲村 正彦 (60) <平成31年4月> 農学士	兼任	講師	仲村 正彦 (60) <平成31年4月> 農学士
		森の社会貢献実践			森の社会貢献実践
兼任	講師	中元 さおり (43) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	中元 さおり (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語文章表現 文章表現演習・標準			日本語文章表現 文章表現演習・標準
兼任	講師	中山(佐藤) 真美 (51) <令和3年4月> 学士(文学)	兼任	講師	中山(佐藤) 真美 (51) <令和3年4月> 学士(文学)
		教職教養 思考力開発			教職教養 思考力開発
兼任	講師	西本 純子 (60) <令和2年4月> 修士(文学)※ Master of Arts(特'リ)	兼任	講師	西本 純子 (60) <令和2年4月> 修士(文学)※ Master of Arts(特'リ)
		英語理解・基礎徹底Ⅰ 英語理解・基礎徹底Ⅱ 英語理解・標準Ⅰ 英語理解・標準Ⅱ			英語理解・基礎徹底Ⅰ 英語理解・基礎徹底Ⅱ 英語理解・標準Ⅰ 英語理解・標準Ⅱ
兼任	講師	野本 敏生 (55) <平成31年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	野本 敏生 (55) <平成31年4月> 修士(法学)※
		環境法			環境法
兼任	講師	橋本 弘 (37) <平成31年4月> 学士(商学)	兼任	講師	橋本 弘 (37) <平成31年4月> 学士(商学)
		簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 財務諸表論Ⅰ 財務諸表論Ⅱ			簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 財務諸表論Ⅰ 財務諸表論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	波多間 純子 (52) <令和2年4月> 文学士	兼任	講師	波多間 純子 (52) <令和2年4月> 文学士
		資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ			資産運用実務Ⅰ 資産運用実務Ⅱ
兼任	講師	原田 浩幸 (58) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	原田 浩幸 (58) <平成31年4月> 博士(学術)
		自然科学C			自然科学C
兼任	講師	古田 ユミ (47) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	古田 ユミ (47) <平成31年4月> 修士(文学)※
		資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ			資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ
兼任	講師	吉本 勝則 (64) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	吉本 勝則 (64) <平成31年4月> 文学修士
		必修英語AⅠ 必修英語AⅡ			必修英語AⅠ 必修英語AⅡ
兼任	講師	Matthew Thomas Vaughan (40) <平成31年4月> Bachelor of International Studies (オーストラリア)	兼任	講師	Matthew Thomas Vaughan (40) <平成31年4月> Bachelor of International Studies (オーストラリア)
		必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語表現・標準Ⅰ 英語表現・標準Ⅱ			必修英語BⅠ 必修英語BⅡ 英語表現・標準Ⅰ 英語表現・標準Ⅱ
兼任	講師	細川 志織 (44) <平成31年4月> 学士(外国研究)	兼任	講師	細川 志織 (44) <平成31年4月> 学士(外国研究)
		興動館プロジェクトと企画力			興動館プロジェクトと企画力
兼任	講師	堀江 清二 (46) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任	講師	堀江 清二 (46) <平成31年4月> 学士(文学)
		みんなで教材を創ろう			みんなで教材を創ろう
兼任	講師	松浦 久幸 (49) <平成31年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	松浦 久幸 (49) <平成31年4月> 学士(経済学)
		戦略MG(マネジメントゲーム)			戦略MG(マネジメントゲーム)
兼任	講師	三木 鳥彦 (60) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	三木 鳥彦 (60) <平成31年4月> 文学修士
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ			フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	宮本 英征 (46) <平成31年4月> 博士(教育学)			
		世界の歴史Ⅰ 世界の歴史Ⅱ			
兼任	講師	矢野 宗宏 (62) <平成31年4月> 法学士	兼任	講師	矢野 宗宏 (62) <平成31年4月> 法学士
		「笑い」のパワー・生きる力			「笑い」のパワー・生きる力
兼任	講師	山崎 初枝 (64) <平成31年4月> 修士(人間文化学)	兼任	講師	山崎 初枝 (64) <平成31年4月> 修士(人間文化学)
		健康科学			健康科学
兼任	講師	山下 明博 (58) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	山下 明博 (58) <平成31年4月> 博士(学術)
		画像編集 映像編集			画像編集 映像編集
兼任	講師	山中 康子 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	山中 康子 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語A※ 日本語(基礎A) 日本語(基礎E) 日本語(発展B) ビジネス日本語C			日本語A※ 日本語(基礎A) 日本語(基礎E) 日本語(発展B) ビジネス日本語C
兼任	講師	Yoshioka Connie (43) <平成31年4月> Master of Arts(TESOL) (イギリス)			
		英語表現・標準Ⅰ 英語表現・標準Ⅱ 基礎英会話Ⅰ 基礎英会話Ⅱ			
			兼任	講師	宮長 成徳 (67) <平成31年4月> 医学博士, 歯学博士※ メディアビジネス特講J メディアと感性デザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	吉村 千里 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	吉村 千里 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※
		必修英語B I 必修英語B II			必修英語B I 必修英語B II
兼任	講師	羅 穎 (53) <平成31年4月> 修士(学術)	兼任	講師	羅 穎 (53) <平成31年4月> 修士(学術)
		中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**属百時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 教育内容充実のため、北野尚人教授(専)の担当科目に「現代マスメディア事情」を追加
- ・ 教育内容充実のため、徳永博充教授(専)の担当科目に「現代マスメディア事情」を追加
- ・ クラスの再編を理由として、松井一洋教授(専)の担当科目から「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」を削除
- ・ 貴名貴洋准教授(専) 就任辞退
- ・ 貴名貴洋准教授(専)の就任辞退により、「経済入門」科目担当を久保大支助教(兼担)に変更
- ・ 貴名貴洋准教授(専)の就任辞退により、「メディアと経済」科目担当を貴名貴洋講師(兼任)に変更
- ・ 教育内容充実を理由として、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」のクラスを再編し、岡本恵子教授(兼担)の担当科目に追加
- ・ 教育内容充実を理由として、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」のクラスを再編し、高石哲弥教授(兼担)の担当科目に追加
- ・ 教育内容充実のため、寺本 康俊教授(兼担)を採用
- ・ 永田靖教授(兼担) 就任辞退
- ・ 永田靖教授(兼担)の就任辞退により、「経営実践」科目担当を藤原久嗣教授(兼担)に変更
- ・ 教育内容充実を理由として、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」のクラスを再編し、濱田敏彦教授(兼担)の担当科目に追加
- ・ 永田靖教授(兼担)の就任辞退により、「インターンシップⅠ(国内)」科目担当を林和夫教授(兼担)に変更
- ・ 広田聖志教授(兼担) 令和元年度海外留学
- ・ 広田聖志教授(兼担)の海外留学により、「ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう」科目担当を栗原理講師(兼任)に変更(令和元年のみ)
- ・ 山内昌斗教授(兼担) 就任辞退
- ・ 山内昌斗教授(兼担)の就任辞退により、「経営入門」科目担当を松川 佳洋教授(兼担)に変更
- ・ 山内昌斗教授(兼担)の就任辞退により、「わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)」科目担当を餅川正雄教授(兼担)に変更
- ・ 山本公平教授(兼担) 就任辞退
- ・ 山本公平教授(兼担)の就任辞退により、「『笑い』のパワー・生きる力」科目担当を山本公平講師(兼任)に変更
- ・ 平成31年4月木本一成(兼担)の職位を准教授から教授に昇格
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、重野(白田)裕美准教授(兼担)の担当科目に「日本語文章表現」を追加
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、後任として合田優子講師(兼任)を採用。
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、Forrest, Richard Andrew講師(兼担)の担当科目に「英語表現・標準Ⅰ・Ⅱ」を追加
- ・ 平成31年4月平下義記(兼担)の職位を助教から准教授に昇格
- ・ 平成31年4月森瑞樹(兼担)の職位を助教から准教授に昇格
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、David Williams講師(兼任)の担当科目に「基礎英会話Ⅰ・Ⅱ」を追加
- ・ 教育内容充実のため、荻野覚講師(兼任)を採用
- ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、坂本はるえ講師(兼任)の担当科目に「日本語文章表現」を追加
- ・ 周濶講師(兼任) 就任辞退
- ・ 先坊幸子講師(兼任) 就任辞退
- ・ 先坊幸子講師(兼任)の就任辞退により、後任として渡橋恭子講師(兼任)を採用。
- ・ 中野登志美講師(兼任) 就任辞退
- ・ 中野登志美講師(兼任)の就任辞退により、後任として坂水貴司講師(兼任)を採用
- ・ 宮本英征講師(兼任) 就任辞退
- ・ 教育内容充実のため、吉長成恭講師(兼任)を採用

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **既に設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
4	4	0	0	8	5	3	0	0	8
(5)	(4)	(0)	(0)	(9)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
4	3	0	0	7	4	4	0	0	8
[]	[Δ1]	[]	[]	[Δ1]	[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	4 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{7}{8} = \boxed{87.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{4}{8} = \boxed{50} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	貴名 貴洋	H31.3	必修	大学入門ゼミ	①	H31.3.31付他大学へ転出のため就任辞退（元）						
				必修	興動人入門ゼミ	①							
				必修	プレゼミ	①							
				必修	演習Ⅰ	①							
				必修	演習Ⅱ	①							
				必修	経済入門	②							
			選択	メディアと経済	②								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	6	科目	必修	5	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	5	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	6	科目	必修	5	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	5	科目	計	2	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{8} = 12.5 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 眞名貴洋准教授の他大学への転出による退職にあたり、当該教員担当科目について、演習関係は専任教員で対応できている。また当該学科専門科目のうち、「経済入門」は経済学専門の他学科教員が対応し、「メディアと経済」については、当該教員が兼任として対応することで学生に影響がないようにしている。完成年度の設置基準未充足の教員数については、当該年度までに新規採用をするよう計画である。</p> <p>「学生への周知方法」 時間割表、履修ガイダンス、ガイドブック等により周知を行っている。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (30年4月)	メディアビジネス学科については、完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	留意事項 本学では現在63歳を定年年齢と定めているが、高年齢者雇用安定法の法改正に基づく高年齢者雇用確保の趣旨を踏まえ、既に継続雇用制度を導入のうえ運用している。よって、大半の教員が継続雇用に該当する現況に鑑み、本学の休退職規程に定める定年年齢の引き上げ（63歳から65歳に）を行った。別紙①	履行済 別紙①のとおり整備した規程のもと、将来構想に若手登用もふまえ、教員組織編制を検討する
		平成40年度までの教員組織編制の将来構想として、別紙②のとおり、学科全体の平均年齢を引き下げていくために、若手教員の採用を着実に進める。	履行中 別紙②のとおり、若手教員の採用を計画している。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<メディアビジネス学部 メディアビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教育・学習支援委員会を設置(平成18年)</p> <p>委員会の事務組織として教育・学習支援センターを設置(平成18年)</p> <p>(※関係規程は添付資料①のとおり)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>8月・12月・3月を除いて月1回開催を定例としている。</p> <p>必要に応じて、学長が出席。各学科・部会等から教員9名、関係事務部門長等5名により構成。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会の実施について ・授業アンケート、学修アンケート等各種アンケートの実施について ・授業公開について <p>その他、入学前教育・初年次教育・学習サポートコーナーの運用など学習支援に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート、学習アンケート、卒業生アンケートの実施 ・授業公開(教員相互の授業参観)の実施 ・FD研修会、授業研究会の実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートは年2回前後期末、学修アンケートは年1回11月、卒業生アンケートは年1回卒業時に、実施要項を委員会に諮り、承認を得た上で、教授会にて報告、実施している。授業アンケート、学修アンケートは学内ポータルサイトを利用してWebにて実施している。全てのアンケートについて、集計、取り纏め後、フィードバックを行っている。 ・授業公開(教員相互の授業参観)は前期、後期それぞれ約6週間の授業公開期間を設け教員相互の授業参観を実施。参観者は、参観後参観した授業に対するコメントの返信やアドバイスなど授業改善に努めている。全教員が原則、全ての授業を公開としている。 ・FD研修会、授業研究会の実施 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善研修FD「卒業論文指導」 ・授業改善研修FD「明徳館の活用法」 ・授業改善研修FD「成績評価について」 ・報告SD「大学生基礎力レポート結果報告」 ・学生対応研修SD「学生対応を考える」 ・授業改善研修FD「授業公開・参観と授業改善研究会」 ・学生と教員による授業研究会FD「授業評価報告と学生FDプロジェクトと参加教員との意見交換」 ・授業改善研修FD「シラバスの書き方と授業運営」～効果的なシラバス～ ・授業改善研修FD「アクティブ・ラーニングの推進」④～アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の評価基準(ループリック)について～ ・授業改善研修FD「ICTの活用法」③～校内教学システムの利用と授業改善～
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

I Rデータを活用しての研修会、授業参観を利用しての授業研究会、テーマごとに設定された研修会など各種研修会を通して、工夫された授業方法を共有できること、ディスカッション、ワークショップなどを通して教員相互で研鑽を行うことによって、よりよい授業改善へとつなげていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無：有

実施時期：前期、後期それぞれの学期末に、開講されているすべての科目について、学生による授業アンケートをWebにより実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート実施後は集計結果を各教員へ返却、教員は今後の授業改善に役立てるとともに、アンケート結果に対する感想・意見、今後の取組についてのコメントを提出し学生へフィードバックを行う。なお、集計結果については、ホームページ並びに冊子にして学内で公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

メディアビジネス学科では、ビジネスと社会生活におけるメディアの役割に関する教育研究を行い、専門的知識の習得を目指すと共に、論理的な思考力及びメディアリテラシーを活かして、企業活動に貢献できる実践的な人材を養成する。また、教育においては、メディアをビジネスに活用するための専門的知識、論理的な思考力、メディアリテラシー及び実践的なプレゼンテーション能力を身につけさせる。そして、企業の広報・宣伝部門、エンターテインメント産業、教育・文化産業、放送・出版・広告などメディア産業、Webクリエイター、PRプランナーなどに加えて、金融・保険・製造・小売り等の一般企業や公務員など幅広い分野で活躍できる人材の養成を目的としている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和元年7月1日頃に公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、本学図書館で閲覧可能とする。

・大学ホームページ上に公開予定(令和元年7月1日頃)

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関(財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年 7月1日）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。